

様式第1号（第11条関係）

平成26年 6月 4日

井原市議会議長 殿

第2班 班長 簗戸利昭

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年 5月28日（水） 19時30分～21時00分
開催場所	井原 地区 「 井原公民館 」
出席議員	簗戸利昭、大鳴二郎、三宅文雄、河合謙治
参加者数	44名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり
備考	

第4回 井原地区（5／28：44人）

番号	要望等の内容	回 答	対 応
1	一般会計を家計簿にたとえてみると（歳入）の賞与等の等は何ですか。理解しにくい。	地方交付税などという意味である。地方交付税等があるので、井原市がやっっていける。	回答済
2	配布資料P16、P17の井原市の今後という項目で、地方交付税、市税のどちらも減少してくるということですが、市としての具体的な対策はどのようにされるのか。	企業誘致等をして若者が帰ってこれる様にするなど、四季ヶ丘にしても、問い合わせがあるが契約までには至っていないというのが現状です。	回答済
3	4年前で、自治連合会会議で市長に企業誘致をする気はあるのかと聞くと「ありません」と言われた。矢掛町は、いろんな企業を誘致している。議会で、市長の考えを変えさせないといけない。市立高校についても同じである。井原市の発展はない。	経済雇用対策として、イバラノミクスでも補助金を出すようにしているの、少しでもやっていこうという気はあるようである。	回答済
4	100歳になったら、お祝い金をしているが、他の方（子供が生まれたら）にしたほうが前向きではないか。	100歳になった人々も1つの喜びですので、現時点では、無くすわけにはいけないのではないかと考えます。	回答済
5	市民が国内外旅行に行った時に、行政サービス等の良いところを市に提出してもらったらどうか。本当の市民の声を取り入れて頂きたい。	他都市の良い所は、取り入れていけたらと思います。提案箱がありますので、提案してもらいたい。	回答済
6	市立高校の件で、何故井原市だけでやらなければいけないのか。何年もつのか。旧精研高校お一部を使えないのか。	県としては、高校を増やすわけにはいかないということである。学び直しの場ということで、半数が市外で、そういう人の受け皿が無いということである。旧精研高校の一部の使用は、県では許可して頂けません。	回答済
7	焼却場（クリーンセンター）はどうなりますか。	1市1町で検討中です。	回答済
8	ごみ袋はゴミが増えてきているので有料化するということがあったが、現在はどうなっているのか。	数年は減少していったが、現在、かなり元に戻っている。	回答済
9	市民病院でタクシーが止まっている時は、駐車場所に屋根を付けてエンジンを切れるようにしたらどうか。	個人的なマナーであると考えます。	回答済
10	市立高校の先生のOBで、現場の先生などは非常にかんばっておられる。市立高校の備品の寄付を現在募っていますが、なかなか集まらない。現場の先生もOBの先生もかんばっているの、今後もよろしく願いたいします。	（要望として承った）	回答済
11	井原町内の空き家をどうにか活用してほしい。	（要望として承った）	回答済
12	企業誘致を積極的にしてもらいたい。	（要望として承った）	回答済

第4回 井原地区（5／28：44人）

番号	要望等の内容	回答	対応
1	昨年質問したのですが、市民病院の待合室をリクライニングにしてほしいと言ったが何もしていない。2番目・3番目ではなく1番目に新しいことをしてほしい。	市民病院の件は、市に伝えてもう一度確認してみます。	未回答
2	10月5日に井原市民体育祭がありますが、市の体育祭ということで、近くの駐車場が全然足りない。皆が参加する形に出来ないか。シャトルバスを何カ所から通わすことは出来ないか。花火大会についても、近くに駐車場が無い。商工観光課にも相談しに行った。	市の体育祭の時の駐車場に関して、シャトルバスということも良いことと思いますので、市に提言します。	未回答
3	四季が丘の報酬金（20万円）に対して、どう思われますか。何故、四季が丘だけなのか。他のところは何故だめなのか。住む人ではなく、仲介人に出すということなのである。何故、仲介人に出さんといけないのか。	貴重な税金です。半分が市外の人々で、これからも市外の人々に来てもらいたいためにしている。市外から来る人を増やすのにやっている施策の1つであると思われます。残り25区画ぐらいで、10年間で売り切るということを、土地開発公社が借り入れ【起債（市内銀行）】し、利息もかかる中でやっているなのでその努力の1つでもある。市に聞いてみます。	未回答
4	桜橋の下に歩道が何故無いのか。早く作ってほしい。新橋の補修工事にも、余っている川の砂を使わずに砂を持ってきて補修するのは何故なのか。	市から県の方に言えますので、歩道工事の件についても、市に提言します。	未回答

様式第1号（第11条関係）

平成26年 6月 3日

井原市議会議長 殿

第3班 班長 西田久志

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年5月11日（日） 19時00分～20時40分
開催場所	出部地区「出部公民館」
出席議員	西田久志 坊野公治 藤原清和 宮地俊則 荒木謙二
参加者数	20名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙参照 ※未回答 別紙参照
備考	

市民の声を聴く会要望事項等 出部地区(回答済分)

番号	地区	担当班	内容	回答
1	出部	3班	住民サービスの向上について 納税収納をコンビニ店舗を活用できないのか。また、住民票発行機の設置はできないのか。	水道料金の納付についてはコンビニ収納で出来ていますが市税に関してはできていません。今後は市に提言をしていきたいと考えています。住民票の発行については個人情報保護法により現在においては難しいのが現状です。
2	出部	3班	全国放送のテレビで住民票の発行ができると放映をしていた。住基番号を登録している方に限られていると思いますが。	国の方針であり、各地で色々な考えがあります。また、それぞれの自治体でも反発もあり、統一はされていません。国としては進めたいのですが、足立みはそろっていません。井原市においても住基カードの発行は数%しかありませんし、しばらく時間がかかると思われます。
3	出部	3班	これからの井原市をどう考えているのか。選挙でも投票率も下がっているし、今日の会も広報をしているにもかかわらず、出席者が少ない。望んでいるのは市議会議員の報酬の削減、議員の削減。オンブズマンもいないし、だれも何も言わない。井原市のことを考えてほしい。市民のアンケートをとってもらいたい。	定数削減については一昨年の9月の議会で定数削減を議決し、昨年4月の市議選より22人を20人に定数削減をしました。報酬については平成8年以来、そのままです。県内でも低いほうですが、いろいろな方が議会に出れる環境を作らなければいけませんし、今後については順次、考えていきます。
4	出部	3班	行政視察をされているが、視察内容は市に採用をされているのか。また、先進地の事例を市政に反映してほしい。	多くの事例が反映されています。一般質問についても先進地の事例を参考にしています。
5	出部	3班	市外からの議員の研修はあるのか。また、井原のいいところを伸ばすためにも研修されるのはいいことである。どれぐらい研修に来られるのか。	井原市には、各地より視察に来られています。5月にはこれからも2市、来られますし、一日に2つの市が来られるときもありました。議会基本条例を作ってから、多くの他市の議会が視察に来られています。
6	出部	3班	1) 市政60周年を記念し、婦人協議会から女性協議会に変わりました。益々、女性の力をもって、井原市に元気を出していかなければならないと思っています。そうした時に、井原町の女性会が協議会から降りられました。どうしてかという、若い人が少なく存続が難しいとのこと。やはり、若い女性の人たちが働ける場所やいられる場所、企業の誘致を優先的にしていただきたい。安心して働ける、子供を育てられる、環境づくりに努めていただきたい。医療費がたどか、学校給食がいただけることがうれしいとのこと。他市から来ていただいているが、他市へ出ていかないうような状況を作っていただきたいし、まちづくりを進めていただきたい。 2) 公民館から小学校に通じる道の見通しが非常に悪い。何とかならないか。	1) 若者が定住する環境を整えていきます。 2) 担当課に伝えます。
7	出部	3班	要望になりますが、小学校の下を通っている水路の天井ですが、角の美容室から水路の横に繋がっています。夜になる境が、全く見えなく、高齢者が歩くのも怖いとのこと。水が流れているので、防護柵を設置すれば、安心して、夜も歩けるとのことです。私も夜回りしますが、街灯も少なく、暗いし、見えにくい。用水路に、これから水が流れ出すと、高齢者の転倒で事故があるかもしれません。安心安全のまちづくりに向けての対策に努めていただきたい。	要望として、承ります。
8	出部	3班	1) ウォーキングをしていますが、B&Gの池の歩道に1か所、亀裂が入っている。秋には駅伝大会もあるし、危険である。側道のブロックもずれている。現場を見てほしい。 2) 四季が丘に帰る通学路、中学生が部活をして帰るのに木が生い茂り、街灯の意味をなしていない。50mに1本では当然ながら足りない。工夫をしてほしい。危険である。 3) テニスコートの下の段のスタンドの椅子、釘がむき出しになっているのが3脚ある。危険である。管理ができていない。陸上競技場でも使われた跡、特にバックストレートあたりがスパイク跡ばかりである。もう少し管理を強めていただき、ペナルティーを与えていただきたい。 4) 広報誌に少年団の記事が、全然、載っていない。一行でも載せれば、活動の張り合いとなる。 5) 4年前のリレー競技でバトンが渡っていないのを抗議したが、セーフとされた。400mリレーでリレーゾーンを井原市は5m手前に線を引いている。子供が勘違いをする。	1) 県が確認したところ、縦クラックなので、構造的には問題がないとのことで緊急性がないとの判断のため、ブロンアスファルトを注入し、クラックを塞ぐ対応を検討中のことです。 2) 市に伝えたところ、本路線歩道の照度基準は、道路照明(歩道照明)では設計をしていなくて防犯基準で設置しているとのこと、市が、現地確認をしたら、防犯灯としての照度は適切であるとの回答でした。 3) 担当課に早速伝え、対応をします。 4) 市の広報も記事の提供を願っていますので、そういった意見を伝えておきます。提案箱も設置していますので色々なご意見を賜りたいと考えます。 5) 監督会議で伝えるのが望ましいと考えます。

市民の声を聴く会要望事項等 出部地区(未回答分)

番号	地区	担当班	内容	回答
1	出部	3班	大きい都市ではありますが住民票の発行を駆でしている自治体もある。コンビニを利用する高齢者も多くおられるので先取りした考えで井原市においてもコンビニでの発行ができないのか。	コンビニのない、また、支所、本所も遠い、中山間部のところでは郵便局で発行していますが、サービスに費用対効果ということは言えませんが、経費がかなり高くつくのが現状です。議会としても投げかけもしていますし、執行部も考えていますが、今現在、実現に至っていません。持ち帰って、ご返答します。
2	出部	3班	接面する公道に上水道本管引込み工事費負担要請について 過去2年間で2区画分譲し、新築された際、公費負担を要請したができないとの回答があり、共用で自己負担費用にて埋設工事を行った。今後、本宅を解体し、2区画の分譲地として売却予定であり、3軒ルールを適用して公費負担してもらいたいと市に要請したが、前回通り自己負担でとの回答があり、拒否をされた。上出部地区では2軒、また、美星でも(はっきりしていないが、公費負担で2軒の新築で本管引込み工事があったと聞いている。都市計画税0.2%負担しているし、固定資産税も他地区よりも高い税を払っている地区にもかかわらず、行政サービスがアンバランスである。重点的に考えていただきたい。メリットが考えられない。バランスのとれた根拠のある説明であれば納得するが、実施根拠のあいまいさと不公平感があるのは納得できない。議員は市民側の立場です。行政の代弁者ではないと考えていますし、強かに市民の意向を行政に訴えていただきたい。	3軒ルールについては現在家が建っている場合で地下水等、使っている場合は公費は出ますが、新築については自己負担となると市からの返答でした。公共水道について、敷設についてどういったところに問題があったか調査していきます。
3	出部	3班	平成25年、26年に8本ずつ16本の矢をイバラノミクスとして打ち出しているが、その中の企業誘致については市長にも質問をしたが、絵に描いた餅になるのではないかと危惧する。要は官地として、企業用地として、市が考えているのは平地5000坪、法面2400坪、坪7万5千円、総額3億8千万円。工業用水が引かれぬ。四季が丘の住宅との共存共栄の企業と訴えている。企業誘致については30人以上(20名)の常用雇用し、3年以内に建物を建てば2億円の補助、29年までに2社を目標に挙げられているが、5000坪の土地を買って30名(20名)の常用雇用をするといっても、ものづくりをする企業は内部留保がかなりあります。会社経営をしている会社のトップの方がどういう方向づけ、考えをしているのかとか議員は会社のトップの方と話をされていますか。議会も力を入れてやっていただきたい。井原市も自主財源が減っているということは若い方が外に出ていっていることです。企業誘致について議会でも質問をされたが、誘致ができていないのが現状です。市にもしっかり伝えていただきたい。	若者の定着が重要であります。議会でも建設水道委員会企業誘致について取り組んでいます。企業の考えやどのような企業を誘致ができるか、場所も含めて取り組んでいます。コーディネーターも2人いますので相談しながら取り組んでいきます。また、農業のブランド化、ブランド製品をを全国的に売り出すにはどういった取り組みをしたらいいのか、商工会議所、担当者や農業従事者と相談しながらすることが現在の段階です。一番の問題と考えていますし、執行部と膝を交えて今後も考えていきます。担当課と相談し、回答をいたします。
4	出部	3班	市立高校についてですが、大きな予算がつき、入学者も期待されていると思いますが、入学者の市内と市外の生徒の割合について聞きます。また、市内の生徒については優遇措置があるのかを聞きます。 グランドゴルフ場については 優遇措置はどうですか。	平成25年度は全校生徒112人、昼間93人、夜間19人です。1学年の定員は昼間40人、夜間40人の1学年80人です。現在、市内、市外の割合についてはわかりませんが、数年前の状況で言いますと、100名の生徒で、市内、市外、半々と聞いています。市内の子供にいたしましても市外の定時制に通う生徒もいますし、市内の生徒に対しての優遇措置は把握していません。今現在は、学び直しの場としてのニーズとなっています。 グランドゴルフ場は市内の方には優遇措置はありません。
5	出部	3班	出部学校区の3本の道があるが、交通マナーが悪い。かなりのスピードで走る車がある。ゾーン30の地域にするとか、速度標識で下げるとか、工夫をしてほしい。早急な対策をしてほしい。	最終的にはドライバーのマナーに頼るところではありますが、そういった意見が出たことは伝えておきます。
6	出部	3班	県道の扱いになるかもしれないが、興譲館武徳殿の北側の斜面の法面、墓の入り口が崩落しかけている。また、木も枯れかかり、危険性がある。また、井原大橋の自転車道のタイルが劣化したりしてバンクする可能性があり、危険である。点検してほしい。	現場を見るように伝えます。

市民の声を聴く会要望事項等 出部地区(未回答分)

番号	地区	担当班	内容	回答
7	出部	3班	<p>工業団地の企業誘致について、ご存知かと思ひ尋ねます。K社というのが工業団地に移転したいと開発公社にもっていったら、市内でそういう業種は該当しないと門前払いをされた。規格、あるいは基準が、またあるいは開発公社に思いがあるのかわからないが、仮に、市内の業者が移転することになると、工業団地の活性化にも繋がるし、その他の業種も集まってくるとの期待もあるが、門前払いされたとのこと。もう1社、福山のメーカーかどうかかわからないが、住民との騒音も問題で断っている。本当に企業誘致をする気が市にあるのか、そういった実態を議員の方は知っているのか。前向きな話があったら、くらいについてでも企業を誘致したいという考えがあるのか。あれだけの補助金を投入するといいながら、結局は、ふたを開ければ何もできないという体制がおかしいのではないか。</p>	<p>担当課に確認をいたします。</p>
8	出部	3班	<p>水道の3軒ルールの説明の中で、新築は認められないとの回答でしたが、水道業者に言わせると、そんなことはないとのこと。家が3軒できると、どの地区でも公費で水道を引いてくれると言っている。条例なのか、水道法の中で謳っている。そこら辺は定かではないが、道理が通れば市民は納得するが、あるケースはこれでいい、また、あるケースではだめだという差のある対応ではだめだと思ふし、3軒ルールというのは、そういうことではないと認識しているので、もう一度、確認をしていただきたい。</p>	<p>3軒ルールにつきましては、先ほど申し上げましたように聞いたんですけど、その件につきましては持ち帰って確認をして、回答をしたいと思っています。</p>
9	出部	3班	<p>要望ですが、リフレッシュ公園で花火の殻があり、5年前に休息所で椅子が燃えたこともある。あのあたりに、監視カメラの設置をしてもらえないか。去年の10月ごろに、移動式の監視カメラを置かれていた。警察か、市か、わからないが、その結果をまだ聞いていない。これから夏はひどい状態となる。これは環境もつながるし、防犯にも関係があるので、考えてほしい。</p>	<p>確認しながら、対応をしていきます。</p>

様式第1号（第11条関係）

平成26年6月4日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第4班 班長 三輪 順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年5月20日（火） 19時30分～ 21時10分
開催場所	高屋地区 「高屋公民館」
出席議員	三輪順治、井口勇、佐藤豊、藤原浩司、柳井一徳
参加者数	30名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり・・・★を付しています。
備考	

第4班担当 第4回市民の声を聴く会 主な質疑応答・提言等

と き 平成26年5月20日（火） 午後7時30分～9時10分

ところ 高屋公民館

参加者 まちづくり会長、自治連合会長、公民館長ほか

●●さん

少子高齢化時代を迎えまして井原市も例外なく人口が減少しています。いろんな要因があると思うんですけど、大学を出て地元へ帰っても就職がないことが大きな原因と思うんです。

企業誘致ということに対して10年程度新規企業立地無しといった結果になっています。先生方はこの10年どういう行動をされて今後どういった方針で企業誘致をされるのか、これはお互い切磋琢磨してぜひとも企業誘致し、若者が定住して人口が少なくとも減らないようなことになってほしいんです。先生方もぜひとも企業誘致ということに対して真剣に取り組んでいただけたらと思っています。見解をお聞きします。

三輪（班長）

企業誘致、雇用場の確保というのは井原市の大きな行政課題です。今日まで本会議での質問・答弁の代表的なものを少しご紹介します。

企業からの意向とか、あるいは問い合わせが十数件あったが実現には至っておりません。

その理由として、企業が求めるニーズにマッチしない。例えば、面積だとか交通の便とか騒音とか、いろんな問題です。役所の方も一生懸命努力されています。

現状はこのような状況ですが、本年度に入り（産業の活性化や企業等誘致などを担当する委員会として）建設水道委員会での通年テーマで二つのテーマを取り上げています。一つは農業の活性化、もう一つは企業等誘致を選定しました。「等」という中には、企業に限らず研究所とかITとか、いわゆる試験研究機関を想定しています。

「四季が丘」にこだわらず、地元の空いている土地あるいは県のリードで他の候補地も視野に入れながら、委員会で具体的に議論しよう、ということで近隣の市町の誘致条例あるいは誘致優遇支援さらに県の意向、それらを踏まえる中で具体的な提案をしていこうと実際動き始めました。

9月には「中間報告」を委員会から議長を通して市長に提案します。年度末には最終報告を提出させていただきます。

この中では、企業等誘致のために、市として何が足りないのか、どうすればいいのか、そういうものを議会をとして具体的に提案をしていきます。これは議員個人の提案でなく議会としての正式なものでありますのでよろしくご理解を申し上げます。

●●さん

南側の313号線を朝は東に向いていく車が多い。これは井原にきてるんじゃないだろうかと、最近病院に行くようになって八尋の道にいたら国分寺から大江の道までも車が井原の方に来てると、それを見て何ぼきようんか、こがあにきょうたらどがんなるんじゃないだろうと思って今日来たんです。

三輪（班長）

井原市における通勤通学圏を見ますと、井原市から福山市へ勤めているあるいは笠岡に勤めている、また倉敷に勤めている市民の方がいる反面、倉敷や笠岡や福山から、あるいは神石高原から井原にお勤めになっている人もいます。

数字はにわかには覚えておりませんが、地域の連携があるわけです。しかしトータル的には若干出て行かれる方の方が多いような気がします。

問題は、市内でここまで若い人を育てて立派な教育して技術を身に着けても、就職先がなかったら出ていく。このジレンマがどうしても出てきます。ですから、先程おっしゃったこととだぶりますけど、そのために我々はどうするか、また井原市も一生懸命考えております。議会全体としてそれも考えて行きます。

そういうことを通して1社でも2社でもあるいは1研究所でも誘致したい。

話が飛びますけども、建設水道委員会で去年、九州の糸島市に行きました。そこは水素の拠点を作るとのことです。水素は未来のエネルギーです。その話を聞いたときに、この町は日本で知らん人がいないほど有名な町になるだろうと思ったんです、直感的に。

というのは、そこに全国から研究者がすごく集まるんです。九州大学との連携もあります。つまりそういう企業じゃなくても研究所でも雇用とか生活環境あるいは文化環境いろんな面で刺激を与えます。そういう風な形で、いったん議会の方で議論すべく企業プラス研究所とかですねITを含め誘致策を考えていこうとしています。

●●さんにおかれましても、周囲からこういう話があるぞとか、こういう風にしたらいいんじゃないか、というご提案がありましたらお聞かせ願えたらと思います。

●●さん

大池にあります消防のホースなんですが、いいか悪いか調べるのに消火栓をひねらないといけんがな、そしたら濁り水が出る。それはまあいいんじゃないけど、その濁り水をみんなに飲ませてるのか。

三輪（班長）

水道管の設置年数によるんですが、当然錆びると水は濁ります。

井原の水質というのは水道局の方できちんと調べておりまして、完全においしい水とし

て安全な水であると宣言をされています。ですから、普通の飲み水はご安心いただいて飲んでください。

ただし、長年使ってないで、たまに使うとどうしても錆が浮きます。ですから最初の時はどうしても赤色の錆を含んで濁ってきますけど、そのうち綺麗になってきます。皆様方が飲んでいる水はそういうことはないですから、それは安心していただけたらと思います。

●●さん

水道水を使えば洗濯がけっこうできるが、地下水を使えば一つも落ちない。

三輪（班長）

洗濯物の汚れが落ちるメカニズムについては、科学的な要因とか分かりませんが、いずれにしても、界面活性剤としての洗剤で汚れを浮かしてとるんですから、その水は非常にきれいであると一般的には言えます。もし不純物があったりしたら取れにくくなるような気がします。

それが当たっているかどうか判りませんが、そういうことがあるとすれば、ひとつ水道水を使っていただいて洗濯をしていただければと思います。

●●さん

仕事柄、健康づくりに対するの質問です。藤原議員さん市民病院についてご質問されています。その時の答えに「急に悪くなったかたは入院できる」と。しかしできるだけ速やかに家へ帰すんだと、これは国の方針。家に帰ってもだれも診る人がいない。病院の方は早く出てくれと。やむを得ないと思いますが、その時の受け皿づくりが必要ですね。

これに関して「第2次健康いばら21」を見ると、男性も女性も世界3番以内に入っております。普通スポーツの世界だったら金メダル、万歳というんですけど「長寿世界一」って言うのもうわっという気持ちにならない。なぜかと言いますと、地域で細かい地域ごとに受け皿がない。この間あるアンケートを取りましたけど、高齢の方で幸せに感じるものの一番多いのは家族がいること。これも限界がありますよね。どうしても連れ合いをなくすこと、これはショックが大きいです。二番目は気楽に話せる友達が近くに大勢いること。67～70%近い方がそういう答えをしている。この健康づくりの7番目に地域の環境を作ろうじゃないかと載っております。これをつくるためにどうするか、いろんな研究をされていますが、気楽に寄り合える「サロン」ができたらどうかと。トイレの問題もありますし湯沸しの問題もあります。なかなかうんというおうち（受け皿）が少ないんですけど、介護施設なんかでも満タンですよ。時間待ちとか順番待ちとか病院も一週間ぐらい見てあげましょう、あとは早く帰ってください。家に帰っても、嫁さんの負担が大きくなるだけ。帰ってほしくないというのが本音だと思うんですけど、そういった意味での健康づくり推進の健康寿命日本一を目指しての街づくりってテーマになってますけど、なんと

なくピンと来ないんです。いいことだと思いますが、寝たきりになるのが一番怖いんです。寝たきりになる要因は生活習慣病を一番に挙げてもらって立派だと思いますけど、早くその生活習慣病を治して、無料の健康診断を受けていただく。

同時に、もっと身近でみんなと歌を歌ったり、話をしたりできない。足腰が立たない人は動く行動範囲があるわけですから、それをサポートするよう近くにサロン談話室そういうのを私も探して入るんですが難しいです。そういう場をお借りするというのは空き家があって空き店舗があればかえってやりやすいかもしれませんが、ちゃんと住宅を改造しているわけなんですけど家屋の寄合ができなくなっている。そこらへんは議員さんのお力添えがあって、こういう例があるんだけど元気出してやってみるか、という研究を「健康寿命日本一」を目指した一つのタイトルが解消できるんじゃないかと私は思います。

三輪（班長）

冒頭の何点かをお答えします。まず医療を取り巻く動向ですが、確かに井原地方、岡を含めて医師の数が少ない。倉敷や福山にもとられています。この地域は、医師の谷間になっています。そういう意味では医療環境が非常に悪いので、ここにおられます藤原議員も2月議会で市民病院のあり方について10年先を目指したあり方をご質問された経緯もございます。そんななかで、国が患者をいかに病院から早く退院させるかというところを主要として取り込んでいこうと法案が国の委員会で審議中です。

受け皿づくりで一番思いつくのが老人保健施設いわゆる老健施設ですね。病院と自宅との中間施設ですが、岡山県内15都市ありますが、残念ながら井原市には老健施設が一つもないんです。

介護計画の際に、介護保険料が少々上がるだろうけど必要だと当局の方に意見がありましたが、結果的には特別養護老人ホームの方が優先するからと言われ実現していません。

おっしゃるように、これからは在宅に帰れない介護重症の人もいます。いかに地域がサポートするかが問題で、そのときにおっしゃったサロンであるとか、少しその方をみんながみれるような環境づくりが必要になってきます。

これからは要介護1、2の方は、保険制度ではあるんですが、市町村に任せる方向です。国もお金がないんですから、こういう風に動いてきます。そのときに、家族に囲まれ、もし家族がいない場合でも、友達と話ができて毎日をご一緒していただけるかという一点に尽きると思うんです。

ですから、そういう環境作りというのは議会としても、知恵を絞っていきたいと思います。たとえば、井原商店街の中にあります「とまとさん家」というのが、もう行かれたことがある人がかなりいらっしゃると思います。あれは非常にうまい施設になっていまして非常に安い値段で昼飯等用意してくれます。立派なバランスのとれた食事が出てきます。これは、トマト銀行の跡地を利用されたわけですね。先ほど空き家と言われましたが、空き家の中でも商店街の中でも少しやる気のある方を、みんなが立ち上がり、ここにまちづ

くりの協議会長さんがおられますけど、そういうような自分たちでもできる、そういうまちづくりをすることは、すなわち街の元気街づくり高齢者の健康寿命のまちづくりにつながっていくと思います。

健康というのは心の健康というのを含めて、非常に難しい。笑顔でみんなと喋れて、ときどきお茶飲んだり、なんか習い事するとか大切だと思います。そういうことを通す中で幸せを感じていただけるようなそういうまちづくりを進めていただきたいと思います。

健診については、国保に関して言えば特定健診は無料になっておりますので、ぜひご利用いただき、皆さん自身、疾病を早期発見していただき重度にならない段階で見つけていただけたらと思います。

佐藤議員

今年度から来年度にかけて「地域福祉計画」を社会福祉協議会と市で取り組んでいきます。高屋町の方は高屋町の声を生かした福祉の計画をつくるようになると思います。それはいろんな方のご努力と応援がないとなかなかできません。

そういった意味でも先ほどもありましたけれども「協働のまちづくり」が大切になってきます。その協働のまちづくりの精神の中で、「お互いの地域はお互いの地域で支えあって守りあっていこう」というコンセプトのもとで今後、地域福祉計画というものを行政ともども作っていきます。その中で、要介護とか要支援とか、また災害時の時にだれがどの人を救助していく、また、誰がどの人を避難場所に連れて行く。そう言ったことを具体的に計画に反映させていくことがこの一、二年これからの取り組みになりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

●●さん

市民の声を聴く会が4回行われているんですけど、最後に質疑応答があるんですけどもこの4回のうちで質疑応答がかなり出ていると思うんです。これらの質疑応答に対して、どのくらい解決されているのか、進捗度はどうなっているのか。つまり、質疑応答された内容と、それから進捗度、具体的には、これはもう解決されてますよ、これはまだ解決されていませんよ、というようなものをお聞かせ願いたい。

三輪（班長）・・・★

市民の声を聴く会で頂戴した、市民の皆様方の提言など、私たち議員は本会議・委員会などでいろいろ質問します。その際、執行部から「検討します」とか「研究します」とか「提言として承っておきます」とかいろいろ答弁があります。こうした課題等に対して適時、「あれはどうなってるんだ」というのを聞かないといけない、ということがあります。

今日の場合、ただ今の質問には直ちに答えられませんけど、年間を通して12、13地区でやっている市民の声を聴く会で、だいたい10から20件のご意見・質問要望等があ

ります。できるだけその場で答えていますが、即答できないものは議会に持ち帰り、所管委員会での課題になっております。

今ご質問された問題は持ち帰り、この4年間の「市民の声」、件数にして延べ700～800件になると思いますが、一件ずつ調べなおし、これは解決済み、あるいはその他進行形、あるいはこれはもう無理だと、今すぐには無理だと、というようなグルーピングにしてお答えを、ちょっと時間かかるかもしれませんが、議会としてお返ししたいと思います。

●●さん

お答えをいただいたんですけど、この4回すべて出席させていただいておりますけども、まだ0%か2、3%ぐらいしか解決されていないような気がします。それから先ほど言われましたように逐次報告はされると言われておりましたけども、これは過去に何回かそういう声はお聞きしております。ですけども、こういう風になったというのを一度も聞いたことがないんです。これはどういうことですか。

佐藤議員

若干のできた事例を紹介をさせていただきます。昨年井原市で災害時の時に荏原としては避難場所が水につかるということが危惧される、そういった避難場所があるということがありました。そこにつきましては、ここは避難場所には適していないという看板をつけます。といったことで行政の方から答えをいただいてそういう風な対応をしていただいております。

また美星においてはイノシシが出て川土手を壊すからそこをきれいにしてほしいという要望がありましたが、その時点で私ども執行部ではないので答えられませんけど、それを持ち帰って執行部にお伝えして対応していただいております。

そうした中で、すぐにすぐ答えが出せる取り組みと、長期をかけて対応して予算組をしていただいて、その時勢にあった対応をしていかなければならない事例もありますので100%提案していただいたこと、100%要望していただいたことがイコールすべてできるか、という現状にはなっておりませんが、そういった意味で議会の方で各常任委員会で皆様方の声を集約して各執行部には持ち寄って、執行部に対応していただいているというのが現状の取り組みの一端でございます。

●●さん

私高屋の町民なので美星とか芳井の市民の声を聴く会には出たことがないんです。で、今私が言いましたのは高屋の問題なんです。

佐藤議員

私初めて地元の高屋町に来させていただいて直接そういった質問をいただいて今後そう

いった意味で対応考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

●●さん

サイレンもない中で、煙がぼっこお出たので、高屋の消防が出るんかと思ったら大江の消防が先にでて、それからサイレンが鳴った。

そのとき既に消えており、これがもし、町中ならどうなっていたのだろうかと思った。

いくら待っても高屋のサイレンが鳴らんから、おかしいなど。それからしばらくしようたら、大江のほうからだいぶたってうちの裏からサイレンが鳴った。

佐藤議員

あとで聞いたんですが、地元の人が初期消火で早めに鎮火することができた。その際、地元の団の方も急がれたと思うんですが、今は昔みたいに地元で仕事をされてる方がなかなか消防団員で少なくなっているという状況で、早めに消防車を出して消火活動するというのが、昔のようにいかないというのも現状だと思っております。

消防本部の方が通知を受けまして、いち早く出動するという体制でまず臨ませてもらっているというのが現状でございます。消防団員の皆さんも日頃から防火活動また有事、そういった際にはほんとに親身になってご努力をいただいている状況でございますが、職場環境等々の問題もございまして、なかなか速やかに対応ができないということもある程度ご理解していただきたい。また、常備消防本部の方もこういったことのないように極力取り組んでいただくように伝えておきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

●●さん

地元で消火栓開いてしていた、消火器をどうすればいいのか、よその家はまだぶら下がったまんまで、邪魔にならんけど。

佐藤議員

自主防災組織というものを構築することによって、そういった意味での消防団員が減少傾向にある中で補助的な取り組みも今後可能じゃないのか、と理解はしております。

消防団員、自主防災組織の拡充のなかで、地域の安全は地域で守るということも今後の課題としてと理解しています。

●●さん

自主防災組織という件で、実は笠岡町でそれを作ろうと思って去年も一昨年もだいぶ研究をしましたが、行き詰っているんです。何に行き詰るかということ、年間の活動計画書を出しなさい、予算書を出しなさい・・・・こんなもんを民間のものが作れますか。名簿を出せというなら出せます、今名簿は集まっています。事業計画書を出しなさいとか予算

書を出しなさいと言われてたら、どうしていいかわからない、これが実態です。私いつも言うんですが、役所というのが、ここでいうのが正解かわかりませんが役所仕事として民間の人に書類を出させすぎる。たとえば社会福祉活動にしても、ものすごい数の計画書予算書を出して決算書報告書を作るんです。私は去年その社会福祉協議会の会長を今年降りたんですが、それはもう勘弁してくださいと言わんばかり。それは仕事ができんくらい書類作り、それに何日までに提出しなさいと。それを各社会福祉のところでやっていただいてサロンからの全部の報告をもらって、それを全部の報告書を作ってこれって給料もらってするような仕事を民間にさす。じゃあ、あなたたちは何をやっているんですか、ということになるんですが、この自主防衛組織を作るといいことだと思います。作りたいんですけど、現実に書類ができない。その書類を作るためには、よっぽど私が暇になるか、会社がつぶれるか、私が首になってでもやらんとできんような内容です。ここのところを13学区あるんですから、とにかく名簿を出してくれと組織図の名簿を出してくれと、あとは行政の方でお手伝いしましょうとか、聞き取りをしながら予算書を作りましょうとか、何かそういうものがあつたら、私は前にいくんじゃないかなという気がしております。

佐藤議員

自主防災組織を作ることを今まで議会でも何度も質問して、やっと防災士の予算づけをしてもらって各地区に防災士育成の取り組みを実現させていただきました。

そういった意味で、その方を中心として各地区に自主防災組織を作っていただくことが地域の安心安全につながるんじゃないか、ということで質問させていただきました。けれども今、●●さんのご意見伺いますと、行政の自主防災組織のとらえ方が非常に窮屈じゃないかと私は思っております。自治会の中に有志の方が自主防災組織という形を作って、そこで一年に一回地域の方で防火活動をしようとか避難訓練をやろうとかそういった形でも、すでに自主防災組織だと思っておりますので、今後そういったご意見も伺いますので行政の方に訴えていきたいと思っております。

三輪（班長）

関連して、「井原市パートナーシップ推進委員」がこの地区にも二人いらっしゃいますね。本会議の議会答弁でも、市長の方から「パイプ役」ということで、地域と行政を結ぶという位置づけでございます。協働のまちづくりの原点は、やはり皆様の意識、この街をどうするか、先ほど河合会長おっしゃったように、防災という視点もあれば、さきほど●●さんがおっしゃったように健康づくりの視点、いろんな視点を入れてですね、ぜひパートナーシップの方を含めて、関係部所と連絡を取っていただけたらなど、地元の議員もあるいは地元でない議員も場合によればお知恵を貸すことができますから、一つよろしく願います。

参考までに、自主防災組織は50万円まで補助金が出ますので、計画書を作って予算書

を作ったり大変なんです。大変だと思いますが、そういう制度も設けてあります。どうぞ宜しくお願いします。

●●さん

補助金対象の件で高屋の一部の機庫に15メートルの高さのところに4本のスピーカーをつけて緊急放送システムというのを作っております。で、このアンプが壊れてしまったのでアンプをやりかえようということで、いわゆるこの補助金を申請をしたんです。ところが、そんなものは対象の中に入っておりませんという市の回答なんです。これっておかしいでしょ。防災となると何がいるのかわからないのに、細かい品目を書いているんです。これに対しては出しますけどアンプは入っておりませんよ。これってホントに防災の構えをしようとして補助をしてでもやってもらおうという気があるのかどうか私は疑問をその時感じました。でもまあ町民の生命財産というのがありますから、各自治会のところにもお願いをして自主財源で中古のアンプを買ってなんとか取り繕ったというのが、まあ音は出るようになりました。

ぜひとも行政の中で作っている補助対象品目というところに「その他」という項を入れてもらってください。地元が要望することには、とにかく応えていくという姿勢をだすというのを議会の方でもぜひとも追伸をしていただきたいと思います。

三輪（班長）・・・★

直ちに答えにはなりません、今のお気持ちであり背景であるとか補助金の活用の仕方については執行部の方にきちっと、お伝えをします。それから「その他」等の表現の挿入、補助金の要綱に表現できるかどうか非常に難しいんですが、それも含めて執行部にお話をさせていただきます。この場での回答は差し控えさせていただきます。

●●さん

前まちづくり会長の方からいろいろ出たんで、いまさらいうこともないんですが具体的な例をもう一つ挙げて、事務局というか市役所の仕事としてもう少しお考えになった方がいいんじゃないかという提言だけをさせていただきます。伝えていただくことで結構です。今、高屋のまちづくり推進協議会の庶務と会計をやっています。

ご存じかどうかわかりませんが高屋の駅前の子守歌の像が立っているのをご存知でしょうか。あそこの土地と、その東側に日の丸タクシーさんの前に市の土地がちょっとございまして、東横内の管理を契約で市の方と高屋のまちづくり推進協議会の方でかわして管理清掃業務というのを請けております。それはそれで結構だと思うんですが、一方でまちづくり推進協議会の方に対して、使用報告とか利用状況報告書を出せというのがくるんですよ。利用状況報告書、実はですねこの3月もう過ぎていますね、無となっています、なんで無しになっているのかというと、みていただければわかるんですが特に東側の土地の方

が南北が3メートルかな4メートルかな東西が10メートルくらいある。非常に細長いんです。正直非常に使いにくいんです。なおかつ国道に面しているので車が行きかうのに何の目隠しなしにツーツーなんですね。車の排気ガスなり騒音なりいっぱい、しかも地面は木が何本か植えてありますけど下を見ると泥がむき出しのような状態なんですね、そういう状態で非常に使いにくい、何に使っていいかわからないというようなものをですね、管理の契約をしているということで報告書を出しなさいと。まちづくりの方に要請されるんですが、●●さんも市の方に出されりゃせんと使いにくいし、かなり市の方に言ってもらったみたいなんですが、市の方は、とにかくそれは決まっておるから出してくれんといけん、というようなことがあったと伺っております。それを聞くとやはり先ほど●●さんが言われたことも含めてですね、私だいぶ良くなったと思うんですが、やはり市の事務処理というのが事務とか処理とかいうのが硬直化があるんじゃないのかなと、現状に合っていない、柔軟性がないんじゃないかなと少し感じる場合がございます。ですから現状使いにくいんですよ、なおかつそれをその管理を請け負ってるところがなんで利用報告書をださないといけないのかという本来利用報告は使ったところがだすものでしょ。

もう一つはですね、あまり言うあたりさわりがあることなんですが、実は管理委託料なんですけども、年間1万円なんです。実績報告を出されてるので、ご存知だと思いますけど年間トータルで「元気老人会」へ作業をお願いしているのですが必ずしもお金のためということじゃなくて皆さんの親睦を深める場として動員された人数は年間で延べ百十いくらです。回数は9回あるんだそうです。いくらお金ではないと言いながらですね世間の常識からして100人の人間をトータル1時間なり2時間なりを拘束しておいて、管理委託料が1万円ですかと、ちょっとひどいんじゃないでしょうか。それ以外にまちづくりの方から、消耗品として、ほうきなどいろんな道具も必要になりますので、皆さんと親睦するのに飲み物なんかも終わった後出されるようなんですけど、お金が足りない現実の中、高屋のまちづくりから、毎年2万円をだしております。

さらに駅前の方は木が植えております。東側の方は市が木の管理をしているということなんですが、駅前のところは業者に2万円出してお願いしている。ですから1万円いたいたものに対して、こちらから4万円の持ち出しをしているというような状態なんですね。もうちょっとあげてくれんかと●●さんの方からされたみたいなんですけど、なんか基準があるということなんでなんかねえそこら辺をそれでできるのというのが実際お金を預かっている私の方から見て痛切に感じました。そこらへんも含めてもう少し規定があるからというんじゃないで、柔軟に現実を見て対応していただきたいというのが私からの要望であります。

三輪（班長）・・・★

総じて管理委託につきましてはこの場でお答えできません。できませんが今、●●さんも市の方にも十分お話しされているようですからこれはここだけの問題じゃなくて 全

市的な問題もあると思います。とくに過疎地域に聞きますと、草が生える時期なりますと草を刈るのに大変苦勞なさっております。ですから土地の管理というのはほんとに難しい部分もございますから、今のお話と併せ、市の方にきちっとお伝えして、その考え方について基本をお聞きし、議会としても今までの議会、委員会の質問でもそういう問題も非常に出ておりますからまとめてみたいと思います。

●●さん

井原市に限らず、少子高齢化というのは時代の流れというのもあるんですが人口の流出とか過疎地の問題が大きくなっておるんですがねこれを声として全然聞く場がない、時の流れとして自然の流れとして、井原市でも山間地全体の面積から言って山間地に住居のある割合としたら相当広いと思うんです。そこに住む人の役目は、やはりさっき維持管理という話が出ましたけれども、そういう人が地域におられるからこの市内のそういう国土と管理ができています。そういうことは全然今まで聞いたことがない、3月の10日前後、新聞の政治経済面に、これからはそういう山間地については、もっと金を使って維持管理をするべきだと新聞に載っていた。これはいいことを書いてるなど、日頃私が思ってることをそのまま書いてるなど、ただこれを時の流れとしてとらえるか、それじゃいけんからちいとなんとかそれぞれの住んでおられる方が住みやすいように人の生活というものはどこに住んでおっても住んでるところに満足して住んでおるといのが一番なんです、たとえ町の中へ密集地におっても、そこで満足していればそれでいいんですよ。山間地へ住んでそこで満足していればそれでいいんですよ。側からどうこう言う必要ないんです。満足しているということは自分の精神の健康にもいいし体の健康にもいいし、まず満足できる生活環境これをこれからちょっと考えていただきたい。

佐藤議員

国の方でも里山再生という形取り組みを進めているところでありますし、また、山が荒廃することによって鳥獣害、イノシシ、サル今ヌートリアとかシカも出てきている現状であります。そういったことを考えますと森林資源も活用していかなければなりませんし、里山の再生ということもやっていかなければならないなと思いますし、増えている耕作放棄地の減少、広げないという取組が必要です。

中山間地を多く持っている井原市としましては、そういったところにもお金が行くような方策を今後考えていかなければならないなと思っております。

三輪（班長）

参考になるかどうかわかりませんが、私が本会議で「農業でめしが食える」というのはどれくらいなあと、金額ですね、年間で。若い人が住んでくれて、嫁さんがもらえる、そして子供が作れる、それについてただしたところ、手取りで年間400万円程度だそうで

す。じゃあ400万円稼ぐためには何をどうすればいいのかその仕組みづくりについては、これから井原市とともに考えていきたいと思っております。ですから若い人が東京一極集中から、佐藤議員も言われますように里山と言いますか、自然に回帰という流れも一部出てきたようであります。

若い人に魅力を持ってもらうような、そういうまちづくりこそ井原市の課題だと思っておりますので、貴重なご提言として頂戴いたしました。

以上

2014年5月23日

井原市議会議長 殿

第1班 班長 上野安是

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	2014年5月16日（金）19時00分～20時55分
開催場所	大江地区 「大江公民館」
出席議員	上野安是 森本典夫 大滝文則 惣台己吉 西村慎次郎
参加者数	22名
主な意見 要望等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 出席議員自己紹介 3. 井原市議会からの報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年1月～12月の主な活動状況 2) 平成26年2月定例会市議会の審議内容 3) 平成25年度に市が策定した主な計画 4) ここに注目 5) 統計からみた井原市の1日 6) 井笠圏域における3市2町の状況と岡山県平均 4. 報告に対する質疑応答 ※別紙1「市民の声を聴く会要望事項等」参照 5. 議会，市政に関する意見交換など <ol style="list-style-type: none"> 1) 総務文教関連 2) 市民福祉関連 3) 建設水道関連 4) その他 ※別紙1「市民の声を聴く会要望事項等」参照 6. 閉会のあいさつ
備考	

市民の声を聴く会要望事項等 大江地区(回答済分)

番号	地区	内容	回答
1	大江	合併する前の人口と合併した時の人口と現在の人口がわかるか。	国勢調査の数字だと思いますが、平成17年度は45,104人で、平成22年度が43,927人ということです。住民基本台帳の数字と若干違うと思いますが、このような状況です。
2	大江	合併する前の井原市の人口は約37,000人だと思うが、ものすごい人口の減り方である。	昭和60年の国勢調査では、旧井原市・芳井町・美星町合わせて51,053人でした。昭和60年からいくと、約8千人の人口減少となっています。特に芳井町・美星町の人口の減り方が大きい。
3	大江	市議会として、人口減少の対策は話し合っているか？ 人口減少の問題は、行政の仕事だと思っている。人口を現状維持するために、行政の力を発揮してほしいし、市議会の力も発揮してほしいと思う。	若年層の減少が人口減少の進む要因となっています。雇用の場を増やすことや定住促進が課題ということで、建設水道委員会でも企業誘致に関する所管事務調査に取り組んでいるところです。
4	大江	扶助費に関する質問で、井原市で生活保護を受けている方がどの程度いるか。ここ数年の推移はどうなっているか。 また、平成21年～22年にかけて急に扶助費が上がった理由は何か。	平成20年は128世帯194人で、平成24年は163世帯221人でした。その中で、生活扶助を受けられたのは、平成20年が169人で、平成24年が191人でした。また、医療扶助を受けられたのは、平成20年が143人で、平成24年が183人でした。人数は年々増えている状況です。 扶助費が上がった理由ですが、人数が増えたというのが理由だと考えます。
5	大江	大江においても高齢化が進んでいる。生活保護を受ける必要のある人が増えてくる可能性が十分考えられる。市全体を考えていくとどうなのかなという気がして質問した。市議会でも対策の検討を進めてほしい。	生活保護を受けられる方が年々増えている状況です。もし、生活保護を受ける必要がある状況になられた方がいらっしゃれば、福祉事務所の方へ行って、相談していただきたいと思います。
6	大江	水道設備の老朽化について、漏水したらそこを直すという考えもあるが、耐用年数が過ぎたものを順次改修していくという考えもあるのか。	壊れたらすぐに直すというのは当然ですが、市はいつ埋設したかというのは把握しておりますので、計画的にやり替えていっています。
7	大江	下水道の整備計画について、大江にくるのはいつ頃か。	公共下水整備は全体的に遅れている状況です。計画区域に入っていれば、いつ頃というのがわかりますが、大江地区は現在の計画区域に入っていないので、いつになるかというのはいけません。 大江につきましては、平成23年にも同じ質問が出ていまして、執行部より、「折口住宅を除き、大江地区は公共下水道区域外となっており、公共下水化する計画はない。大江地区は公共下水以外の方法で整備していくことになると思います。」という回答をいただいています。

市民の声を聴く会要望事項等 大江地区(回答済分)

番号	地区	内容	回答
8	大江	<p>次回の市民の声を聴く会」までをお願いしたいことがある。</p> <p>「ここに注目！」ということで、新しい取り組みをされていることはありがたいことではあるが、この資料は一般の統計で存じ上げていることが多い。</p> <p>例えば、「井原市の産業構造は本当に活力があるのか」、「停滞してお先真っ暗なのか」、「先行きどうなのか」などを分析できるような独自の資料を作って説明してほしい。</p> <p>井原市は企業の数も多いし、働く場もあるし、県北に比べると決して井原市が悪いとは思っていない。企業の数が井原市にいくつあって、雇用の数がどれくらいあって、市外から井原市にどれくらい働きに来ているのかという資料を出して、井原市民を元気づけてほしい。</p>	<p>資料作りは広聴広報委員会ですが、ご提言に応えられるように、井原市の動きがわかるように、議会独自の資料を次回作成していきたいと思います。</p>
9	大江	<p>子どもが少なくなっている現状がある。小学校の合併について考えていないか。</p>	<p>少子化に伴って子どもの数が減っていけば、合併という考えも出てきますが、今の教育長の考え方は、町から小学校がなくなったら町がすたれてしまうという考えで、子どもがゼロにならない限り、合併は考えていないということを、教育長に就任された際にそういう話をいただいています。ただ、公共施設の維持管理となれば、本当に合併しないで良いのかということ議会としても考えていかないといけない。</p>
10	大江	<p>教育長の権限が市長に移るとい流れになっていると思うが、井原市はどのように考えているか。</p>	<p>今後、国からの指針がどう出されてくるかというところで、現段階で市からどうか、議会からどうというのは言えない段階であります。</p>
11	大江	<p>岡山県は災害が少ないと言われていて、自主防災組織の意識が低いと言われていたが、井原市として自主防災組織についてどのように考えられているか。</p>	<p>井原市地域防災計画が策定されている。その中にも自助共助というのは書かれています。もし、危ないということになれば、防災MAPで決められている避難場所へ避難いただいて、食事や生活援助や見回りを公民館や自治会単位でお願いしたいということになっています。どのように対応をしていくかについては、今、各地区でご検討いただけないかというお願いをしているのが現状です。</p> <p>市議会議員は、まず自分の身を守り、地域の状況を把握し、議長へ報告するという体制になっています。</p> <p>自主防災組織は、全地域に組織されていると聞いていますが、活動を活発にされているところ、そうでないところがあるようです。今後もその組織を中心にこれからどうしていくか検討されていくことになると思います。</p>
12	大江	<p>四国には、「さぬきこどもの国」や「えひめこどもの城」という児童会館を中心とした大きな施設がある。外の遊具もあって、建物の中でも遊べるような施設がある。井原市でもそのような施設ができたらいいなと思っている。そういう施設ができることで、雇用の場にもなると思う。</p>	<p>要望として、受け止めて、行政側へ伝えていきたいと思います。</p>

市民の声を聴く会要望事項等 大江地区(回答済分)

番号	地区	内容	回答
13	大江	<p>今日もいくつか質問や要望があったと思う。司会が「聴いたことは執行部へ伝えます」と言われたが、もう少し市議会は元気を出して、「そうなるように努力します」というように言っていただきたい。聴くことは誰でもできる。我々市民も協力したいと思うので、「要望が実現できるように進言したい」、「議会としても議論していく」という回答をいただきたい。今後もよろしく願います。</p>	<p>議会から執行部へ皆さまからのご意見を伝えていきましたが、議会として、皆さまのご意見・ご要望を実現できるようにしていくのは当然だと思っています。</p> <p>今日、お伺いしたご意見・ご要望は、持ち帰って、1つ1つを担当の常任委員会へ振り分けます。各委員会で議論をして、議会としての意見を加えて執行部と協議していきます。最終的に、回答内容を全員協議会で協議して、ご要望が実現できるかどうかはわかりませんが、真摯的な対応をさせていただきますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>
14	大江	<p>議会改革について、井原市議会は全国でも珍しく議会改革できているようです。その中で、「反問権」という逆の質問ができるようになってきているということですが、その「反問権」を使って事業ができたという事例があるか。</p>	<p>反問権は、執行部が、質問に対してもっと理解を深めたいときに質問の趣旨を確認することができる逆質問のことです。</p> <p>反問権によって何かできたかというわけではなく、議員の質問の趣旨を確認する質問という意味ということでご理解いただきたいと思います。</p>
15	大江	<p>井原市の職員について、非常に多忙な職場があり、場合によっては土日の出勤をされている。井原市の職員の稼働率は平均的にどれくらいになっているか。きつい残業ばかりされることは、大変かわいそうに思う。</p>	<p>部署と時期がからみ合いますが、データをとっていれば提示できると思いますが、恐らくそういう数字は各部署で取っていないと思います。</p> <p>そのため、どれくらいの稼働率かを把握することは難しく、未回答として持ち帰っても、ご期待の回答ができないと思いますが、いかがでしょうか。</p>

市民の声を聴く会要望事項等 大江地区(未回答分)

番号	地区	内容	回答
1	大江	大江地内の歩道について、下御領井原線の三叉路までは整備できたが、そこから井原へ抜けて行くところは手が付けられていなくて、今、一部やっただけだと感じているところである。 今後の整備計画はどうなっているか。子どもの通学の安全確保のためにも、運動公園まではぜひ整備をお願いしたい。	運動場までつながるような計画で市は進められている。いつまでにということまでは知りませんので、市へ確認し回答させていただきます。
2	大江	私は何年か先に大江幼稚園に預かり保育をお願いしたいと思っていましたが、夏休みの預かり時間が8:30～17:00と聞いて、正社員で働く親にはちょっと厳しいなと感じた。預かり時間を検討していただけませんか。	各幼稚園でどれぐらい延長できるかというのは違うかもしれませんが、普通に努められたら今の預かり保育時間では難しいということで、要望として、受け止めて、行政側へ伝えていきたいと思います。また、総務文教委員会でも延長できないかということを検討していきます。
3	大江	防犯灯のLED化に対する市の補助申請手続きについて、現状の手続きは、市へ書類を提出し補助申請して、市からの交付決定を受けて、業者へ発注し、設置後実施報告して、補助金が振り込まれる。 防犯灯は危ない箇所へ設置しているもので、何日も切れた状態にしておくわけにはいかない。市の回答は「交付決定を待って着手してください」ということだった。すこしでも早く設置できるように、交付決定が速くならないか。市議会の方で前向きに検討し、改善できるように取り組んでほしい。	執行部へご意見が出たことを伝えることと併せて、議会の方もそういう意見を出していきたい。改善できるように頑張っていきます。
4	大江	立派な大江公民館を造っていただいた。1～2か月利用させていただいているが、T字路に向かって道路は高くなっており、公民館駐車場との段差がついている。自転車で来られた方は、正門の入口まで回って来て、駐輪場に自転車を停めている。 出入りが不便だと感じているところである。駐車場と路面の高さを同じにし、安全に通れるようにしてほしい。	関係部署へ要望があったことをお伝えして、議会としても不備なところがあれば改善要望していきます。
5	大江	稲倉から大江へ抜ける道の歩道について、土地の買収もできないという関係もあって工事がストップしている状況である。市議会でのこのような状況を把握しているか。 PTAからも要望が出ていて、命に係わることなので、工事が止まらないようにしてほしい。	本日参加している5名は知らないという状況です。県道ではありますが、市の担当課へ話をしていきたいと思います。
6	大江	河川のこと、今年は特に藻場が多い。井原市での回収を考えてもらえないか。3月16日に藻場の回収を行ったが、4t車へ14杯もあった。	井原市に対し、藻場の回収についてどうにかならないか確認してみます。

市民の声を聴く会要望事項等 大江地区(未回答分)

番号	地区	内容	回答
7	大江	第2種市道の草を刈って焼いていたら、煙たいから焼くのをやめてくださいと言われた。農林地域で市道の脇の草を刈って焼くというのを認めてほしい。または、市道の草をシルバーさんに刈っていただいて帰っていただきたい。	市道の草を刈るのは、市が管理者ですから市が草刈りなどの管理をやるのが当然だと思います。しかし、現実的には、100%目が行き届いているかということ、そうではない状況であります。草刈りについては、できれば今後もしていただければありがたいと思っています。井原市に対して、刈った草を回収してもらおうことができないか要望していきたいと思っています。
8	大江	「お知らせくん」について、公民館からの案内は聞き取れるが、朝夕の定期便の音が聞き取りにくい。同じボリュームで聞いているが、声の大きさが違う。定期便の声の大きさが大きくなるか。	逆の話を聞くこともありますが、市の担当課へ確認してみます。

様式第1号（第11条関係）

平成26年 6月 4日

井原市議会議長 殿

第2班 班長 簀戸利昭

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年 5月20日（火） 19時30分～21時00分
開催場所	稲倉 地区 「 稲倉公民館 」
出席議員	簀戸利昭、森下金三、大鳴二郎、三宅文雄、河合謙治
参加者数	20 名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり
備 考	

第4回 稲倉地区（5／20：20人）

番号	要望等の内容	回答	対応
1	<p>昨年の5月号の市広報と今年の5月号の市広報で人口数を比べると、739人減少している。稲倉3町の内の1町が無くなっていることになる。なるべく減少しないように目標を決めてやらないと、4～5年で4万人を切る。税金も減ってくる。人口減の政策がないといけない。それに対する助言はないのか。</p>	<p>とてもむずかしい問題で、企業誘致などを進めてはいるが、なかなか進んでいない。建設水道委員会でも対応策を考えるようにしたばかりである。国全体も少子化で減少してきている。</p>	回答済
2	<p>市立高校の薬剤師をしているが、今では、定時高校としてではなく、不登校の人達が多く、養護室で休憩している人もいる。この高校があるから、高校に行っている人もいる。井原高校の一部を使わせてもらうように言ってもダメだったようだ。市立高校の良さをもっとアピールすることをしてもいいのではないかと。市外から来ているということもとてもいいことである。</p>	<p>何故、市立高校を建てるのかという意見も出ているが、今後は井原市立高校の良さをアピールしていきたい。</p>	回答済
3	<p>企業誘致をして働く場所を作らないと、人口減の歯止めは出来ない。昨年の質問内容のN○10の10行目の「全国の市町村が死に物狂いで補助金を出してでも来てもらうようないろいろな工夫をしている」という考えでもっと力を入れられないといけない。出来上がった企画で、これはどうですかなどではいけない。対応人数を増やして対策していかないといけない。</p>	<p>前期・後期計画内でも2件するとしているが、今でも0件のままである。矢掛では、職員が県へ出向して県から情報をもらって、その会社に行ってオーダーメイド方式でやっている。議員も何回も市長に質問しているが、トップセールスをしているという回答である。議員は提案することは出来るが、市長が自らも誘致するように取り組まなければいけないと思う。</p>	回答済
4	<p>防災対策について、避難場所はなるべく近い方がいいのではないのか。コミュニティハウスなどにしてはどうなのか。</p>	<p>住民に似合った避難場所にすることは出来るのではないかと考えます。</p>	回答済
5	<p>地域活性化について、笠岡市は非常に盛り上がっているが、井原市はどうなのか。井原市は道の駅を作らないのか。</p>	<p>芳井町合併時に、前市長に道の駅とグランドゴルフ場を提案していたが、その後も道の駅の提案をしたが、ダメであった。今現在は、市としては考えていないと思います。</p>	回答済
1	<p>市債が14億円ですが、その前の年はいくらだったのですか。</p>	<p>調べて回答します。</p>	未回答
2	<p>若者の定住促進が出来ていない。毎回の回答が少しも変わっていない。昨年の質問内容のN○10の5行目は「昨年3件引き合いがあり」ではなく、「3ヶ所の場所で引き合いはたくさんきている」である。昨年の質問内容のN○9の収入アップは市民税の増収アップのつもりで言った。字句の訂正をお願いできるか。</p>	<p>議会内で確認してみます。</p>	未回答
3	<p>大規模なメガソーラーの促進はやっていないのか。美星でやっているのは知っているが、大江の残土地などには適しているのではないのか。議員として何か認識はあるのか。</p>	<p>美星でやっているのは見ている。大江の残土地の所は意見として言ったことはあるが、今は立ち切れしている。確認してみます。</p>	未回答
4	<p>文学賞は、毎年1回募集しているが、年々減少している。（平成17年度116名、平成25年度8名）笠岡市などは夏休みの宿題としてやっている。井原市でも出来ないか。賞金などももっとアップしてはどうか。</p>	<p>色々なところに要望していきたい。</p>	未回答

第4回 稲倉地区（5／20：20人）

番号	要望等の内容	回答	対応
5	昨年の質問内容のNo.16（県道笠岡井原線改良）について、そこに行ってみて、ぜひ歩道を作ってもらいたい。	市から6月ごろ県に要望を出していると思います。また、場所を確認します。	未回答
6	まちづくりに対して色々な団体が個々にやるのは非常にムダである。どこか統制するところがあるのでは。	確かに各まちづくり協議会でいろいろである。市に確認してみます。	未回答
7	通学路について、橋（稲木川にかかっている）に手すりが無いので付けてもらえないのか。何故、これまでに無いのか。	現場を教育委員会にも見に行ってもらい確認をします。これまでのことも確認しなくてははいけないと考えます。	未回答

様式第1号（第11条関係）

平成26年 6月 3日

井原市議会議長 殿

第3班 班長 西田久志

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年5月21日（水） 19時30分～21時00分
開催場所	木之子地区「木之子公民館」
出席議員	西田久志 坊野公治 藤原清和 宮地俊則 荒木謙二
参加者数	40名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙参照 ※未回答 別紙参照
備考	

市民の声を聴く会要望事項等 木之子地区(回答済分)

番号	地区	担当班	内容	回答
1	木之子	3班	井原鉄道について、赤字対策はどのようにされているのか。赤字は減っているのか。	マイレールプラザ、得得市の開催、観光協会等での全国発信をはじめ、乗客数の増加に向けて、各沿線市町で模索しています。そういった成果もあり、乗客数は100万人を突破し、増加傾向で赤字は減少傾向にあります。また、マイレール意識の向上に向けて、議会も取り組んでいきます。
2	木之子	3班	議会を傍聴しているが、質問者はまだしも、答弁者の歯切れが悪いのを改善したらどうか。	報告しておきます。
3	木之子	3班	昨年、不幸にして木之子地区で火災がありました。当初、緊急放送で、サイゴウ地区とかというふうな発表があり、また、知人から、サイゴウ地区というのほどかかといわれました。消防署に確認したら、音読み、訓読みとかと、苦しい答えがあったんですが、緊急事態の放送等は、正式な地名、名前を言うのが非常に大切なことで、間違った放送で大変なことになるとは危惧します。正式名の放送は、基本の中の基本の一つと考えますので、関係箇所には調査していただいて、そういったこのにないように、お願いします。また、訂正箇所、再度の放送をお願いします。	2月議会の委員会でもそのような意見、地域の呼び方、個人名のこと出ました。機械が読んでいたため、そういったことがあり、執行部に聞き取りをしたら、全地域名の読み込みをしているとのことです。2月議会の時でしたので、今は、機械読みを終えているのではないかと思います。さらに、個人名でも読み込みとしています。極力、間違いないように努力していると思われま。こういったご意見があったと、報告しておきます。
4	木之子	3班	防災計画についてですが、井原市においての本年度、防災計画を見直しをされていますが、南海トラフの大地震が予測される中、井原市防災計画の中で主だったことは決められていると思いますが、市内のそれぞれの地域での避難場所とかは地域にを投げかけて、地域ごとの計画を立てられたほうがよいと思います。合わせて、避難訓練をどういうふうにするとかを、地域かどこかの団体にそのような指示を定期的にするという計画はあるのですか。木之子地区は、小田川の南側ということもあって、堤防の決壊など、地震がなくても大水が出たら決壊の可能性もあり、避難場所としては、公民館や学校が指定場所となっていますが、地域に委ねたらと思いますが。	防災訓練はこの地区で、6月8日に開催しますが、各地区で実施したらということで、昨年は井原町で開催をしました。一昨年は、芳井町で小田川の洪水による氾濫を想定した避難訓練をしています。また、毎年、市としては実際の避難訓練をしていく計画であります。各地区で防災につきましては、自主防災組織を立ち上げていただくことをお願いし、資材の費用等も支援をしています。全地域に組織されてはいませんが、徐々に増えているようです。
5	木之子	3班	関連して、今の回答の中で、自主防災組織を立ち上げてくださいと言われましたが、こうした支援をしますよとか、こうした材料が出ますよとか、啓蒙活動、PRを積極的にし、そういった組織を立ち上げていかなければならないと思っています。いざという時に、してけばよかったとなりますし、災害は、起きて初めて気が付く部分もありますので、積極的な取り組みを、また、組織づくりの働きかけを、市のほうからもしていただきたい。	議会も執行部に伝えるだけでなく、働きかけていきます。自主防災組織を立ち上げる経費としては、上限、50万円として、補助率は、10分の8ということです。現在、市内で68団体が登録して、災害用の備品はもちろんなのですが、福祉課と合同で、要支援者の人数の件につきましても登録しています。
6	木之子	3班	提言ですが、あいあいバスが走っていて助かっていますが、見た範囲ですが、1人か、2人とほとんど乗客が乗っていません。他地域では、どれぐらいの利用があるのかわかりませんが、時間の変更も今回されたら聞いていますが、人数的に少ないのであれば、回数は減らさずに、バスを維持費の関係で7、8人乗れるバスにしていくとかすれば節約になるのではと感じています。社会協議会に携わっていますが、これから60歳以上、65歳以上の人がこの10年間でどんどん増えていきます。福祉の問題が一番悩んでいることで、木之子地区でも3000人の人口ですが、60歳以上が1千58人おられます。10年経つと、団塊世代も75歳となり、井原市も平成22年で、1万3千719人という数字が出ています。30%以上が高齢者です。例を挙げれば、84歳になる母親が、夜6時半ごろ玄関から出ていき、いなくなりまして。様々なところを探しましたが、なかなか見つかりませんでした。警察に連絡したら、親切な方がおられて、警察にあずかっていただいていた。そういった事案もあり、社会協議会としても、見回り活動を実施しています。これからの10年間の福祉対策、高齢者対策を議員の立場としてどのような施策を進めていかれるのか知りたいです。子どもと高齢者が安心して暮らせつまちづくりに全力で努めていただきたいとします。答弁は求めませんが、よろしくをお願いします。	あいあいバスの件ですが、公共交通として大変、重要なことです。利用者が少ないといったことで、アンケートをしたり、地域の要望を聞いたりとかして、見直しをされています。デマンドタクシーとか、福祉タクシーとかのかたちもとっていますし、どのような形がいいのかは、その都度、手探りで模索していますが、地区によって事情が違いますので市内同じ状況とはなりません。議員も危惧してしまっていて、先進地視察等で研究もしていますし、早くいいかたちにしなければと思っています。小さな車にすればとのご意見ですが、実際何台かは走っています。高齢者の件ですが、直面している大きな課題として執行部としても、議会としても正面から取り組んで参りたいと思います。

市民の声を聴く会要望事項等 木之子地区(回答済分)

番号	地区	担当班	内容	回答
7	木之子	3班	AEDについてですが、市民にAEDの使用が認められたのが、2004年の7月で、当時は、7千台、2011年には、38万3千台と急増しています。全国の小学校の98.5%、中学校で、99.5%、高校で、99.4%と学校関係では、かなり設置がされています。AEDを实际使用された件数は、平成12年には881件、その内、365人がAEDを使用し助かり、その内の86.6%が社会復帰されたと結果が出ています。なぜ言いますかといえば、この地区で、草刈りをされてた方が、急に倒れました。救急車を手配されると同時に、消防署の職員が、AEDを設置している公民館に、すぐに持って行っていただけないかと、連絡があったそうです。設置している場所の一覧表を作成すれば、緊急時に対応がすぐにできるのではと思います。一歩進んだ対策を講じて、助かる命は助けてあげたいと思っています。名古屋市と、横浜市には、AEDの設置場所を整理した緊急司令室の写真も載っていました。これからは、きめ細かい対応をしていただきたいと思っています。答弁はいりません。	AEDを使用した事案もありますし、設置場所を整理することは、大事であると考えます。
8	木之子	3班	福祉に関してですが、木之子地区は1000世帯、3000人で、民生委員が8人、主任児童委員が2人と民生児童委員が6人おられます。国は50所帯に1人ぐらいの平均で、井原市も全体で調整されていると思いますが、これから10年後には、高齢者一人暮らしが、岡山県では3割から4割になると発表しています。そういうことを考えると50世帯に1人の民生さんが必要です。この木之子地区は、13地区ありますので今は均等にしていますが、今後は、非常に厳しい状況になっていくものと考えています。したがって、民生さんやボランティアの増員をしていただきたいと思っています。また、地域包括センター等々でも今後も力を入れていただきたいと思っています。	民生委員の数を増やしてほしいとのご意見ですが、国の制度ですので、自治体がすぐにどうこう言うことにはなりません。名前はともかく、高齢者をサポートしていく方を増員していく必要があるのでは、とのご意見ですが、市としては、どういったことができるのか、制度として人的な増員が可能なのか、また、そういった声があることを伝えてまいります。議会としても検討してまいりたいと思います。
9	木之子	3班	資料の中に、繰出金、補助金、60億というのがありますが、具体的に何か教えていただきたい。子どもへの仕送りというのは意味合いが違い、項目名を考え直していただきたい。	繰出金でありますと、市民病院への公的補助金、国民健康保険への繰出金が主なものです。補助金はたくさんありますが、公民館とか、多種多様です。例えば、子どもへの仕送りといいますが、いろんな組織、団体、半公的な団体への補助金です。

市民の声を聴く会要望事項等 木之子地区(未回答分)

番号	地区	担当班	内容	回答
1	木之子	3班	消費税が4月1日から8%になったが、井原市としては、増税の消費税対策はどのようにしているのか。	低所得者に対して、消費税分を補填しています。持ち帰って報告します。
2	木之子	3班	放課後児童クラブに勤めていますが、委託金について伺います。委託金は、年度末に、次年度の児童利用者の数を申告して、それに応じて、県、市、で委託金が決定されます。年度末までに、毎月、利用者人数を出して、それに応じて、実用実績の条件を満たさなければなりません。その返金が、私の勤めているところは、80万円近い金額でした。年度末に、返金したお金はどういった扱いになっているのか、保護者の方に聞かれたんですが、お尋ねします。	返金したお金の扱いについてですが、把握していませんので、確認して、回答いたします。
3	木之子	3班	木之子地区は小田川の決壊、また、小田川と稲木川の合流点でもあり、井原市で一番低い土地と考えていますので、氾濫等、危険であります。そうしたことで、水害に対する避難と、もう一つ、山際で山崩れがすることも考えられます。そのようなことで、公民館か小学校に、「一日でいいから、避難させてくれないか」といわれる可能性があります。しかしながら、公民館には毛布もないという状態であります。南海トラフ等の災害を想定し、公民館単位で、この木之子地区で、具体的な避難のかたち、また、物資、食料等の準備も含めて考えなければならないと思ってます。町民で、勉強会をすることも大事であると思えますし、町民の防災に対する意識の向上が大事だと思います。具体的には、どういう予算で、どういうものを用意するのか、例えば、毛布は10枚ぐらいは必要とか、そういったことを考えていかなければならないと思っています。	それぞれの地域には地域性がありますし、木之子地区におかれましては、小田川の氾濫、稲木川の合流点で危険であり、そのために、どういった準備が必要であるのか、木之子地区の課題を聞かせていただいたと思っています。そういう課題があるという認識をもって、市に働きかける、また、議会としてどう取り組むのかを検討していきます。
4	木之子	3班	要望としてですが、防災に関することです。東京消防庁推奨の発災型防災キットというのがあります。この避難用キットを1セットでもいいので、買っていただきたいとの要望です。自主防災組織についても勉強をしましたが、何が大事かというまず第一に生きることからということで、名簿を作っています。そして、避難訓練をしたいと思っています。ただ集まるよりも、東京消防庁が推奨している、柱の下敷きになったとか、怪我をされたりとか、そういうことを想定したキットで、避難訓練をしたらと思っています。そのセットを一式買っていただければ、例えば、名簿だけ持っている組織でも避難訓練は可能でしょうし、おそらく、井原市全体で使い回せば、1セットで間に合うと思います。是非よろしく願います。	発災型のキットについては調べて回答します。
5	木之子	3班	市民体育館の維持費について一年間でどれぐらい金額がかかっていますか。	施設管理運営業務委託料としては、1225万5千円ですが、他の施設も入っていますので、市の体育館としては、今、資料を、持ち合わせていませんので、持ち帰って回答をします。

様式第1号（第11条関係）

平成26年6月4日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第4班 班長 三輪 順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年5月15日（木） 19時30分～ 21時05分
開催場所	県主地区 「県主公民館」
出席議員	三輪順治、井口勇、佐藤豊、藤原浩司、柳井一徳
参加者数	24名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり・・・★を付しています。
備考	

4班担当 第4回市民の声を聴く会 主な質疑応答・提言等

と き 平成26年5月15日(木)午後7時30分から9時05分

ところ 県主公民館

参加者 まちづくり会長、町内会連合会長、公民館長ほか24人

●●さん

井原市の南のほうでは議員に出る人がいなくなった。大江、稲倉、県主地区誰もおりません。その人口が大体8000から9000人ということは5分の1の代表がない状況になってます。これを皆さんどう思っているのか聞かせてもらえたらと思います。

三輪(班長)

井原市には13の小学校区がございます。議員の数が20人です。同じ学区で何人も出ているところもありますが大江、稲倉、県主は一人も出ていません。

議員の役割というのは出身地区・地域の問題だけではなく、井原市民全体の暮らし、生活、福祉の向上を目指して活動しています。議会活動の中で、井原市全体のことをどうしていくか、市民皆さまの代弁者として出ているわけですから、どこにでも出かけて仕事もし、お話も聞き、関係部署に繋ぎ、皆様と一緒に課題解決のために頑張っていきますので宜しくお願いします。

●●さん

この学区に議員がないということは、日常の意見が議会に入っていないと思います。だから、より皆さんが活動されて、こういうところに足を運ぶようにして下さい。

佐藤議員

「議会基本条例」をつくることによって20人の議員が、この条例で「市民の声を聴く会」を開催し、全地区のお声を聞く機会が増えました。そういったことによって議会全体にで、自分は単に地域の代表ではなく、井原市全体の代表なんだと認識しています。これは大きな成果だと思っているので、今のご意見も本当に参考にさせていただきながら、これからも議員一人ひとりが地域全体の課題に取り組むよう努力しますので宜しくお願いいたします。

●●さん

井原市の人口に対して今議員数20人が適正かどうか、こちらも考慮すべきだと思います。

ある程度減らして議員の手当てを増やすとか、そうしていかないと魅力がないんです

はっきり言ってそこらもある程度検討された方がいいんじゃないかと思う。

三輪（班長）

この会をするたびに議員定数の問題とかでてきましたが、議員定数は我々で決められますが、報酬は市長が設置する審議会っていうのがあり、それにかけないと自分の報酬は決められないのでご理解ください。

●●さん

まちづくりの関係で「県の里まちづくり推進協議会」の方で頑張っていますが今、説明の中でP20、「ここに注目井原市の今後」の中で、最後に協働のまちづくり、住民自治の仕組み作りに向けてという記事があります。また、合併による地方交付税が合併特例債が今後減ってくる、0.9～0.1になって最終的になくなってくる、この期間が正念場ではないかと思います。その仕組みづくり、協働のまちづくり住民自治の仕組みづくりということからしますと、市民福祉関連の中に、この協働のまちづくりが位置付けられていいのかなど、どちらかという総務文教の中の市の将来ビジョン、といったところに位置付けられて協働のまちづくりの中で市全体のあり方、地域のあり方というのが、論じられる必要があるのではないかと。

県主の場合は、小さな行政ではないが仕組みを行政に習って部会を作って組織化しています。議会の方も、執行部の方もそういった将来ビジョン、協働のまちづくりを通した住民と行政の在り方、そういったものをこれから議論をしていかないと、特例債が減ってくる一番の正念場を乗り切れないのではないのか。

これから先の将来も見えない。もちろん県主は農業の関係がありますが農業の将来も中々難しい面がありますが、市全体の在り方というのが見えないような気がします。

「協働」といった面で、議会としてはどの様に考えているのか、以前にも協働のまちづくりの考えを聞いたのですが、いい答えが返ってない。議会としては、どの様に考えているのか基本的な考え方をお聞きしたい。

三輪（班長）

図示しますと、行政の仕事と市民の役割とのはざまが協働のゾーンでして、これをどう実施するかと言うことです。協働のまちづくりの正解は、これだというものがまだ出ていない。13学区を見てみると県主は非常にしっかりとしている、とテレビや広報を見て思いました。

「地域の課題を発見することで意識が変わってくる」ことに繋がってくる。そして行動を起こすきっかけになる、とこの地区のどなたかが発言されました。このことこそが地域づくりの基本だと思います。知恵を出して地域の知恵を使ってまちづくりをやる。

しかし、最終的には必要なお金の調達、財源の問題や場所の問題があります。コミュニティービジネスとしての展望の見極めも難しいと思います。行政はどこまでやればいいのか

と言う事で今、各地区に対し、100万円の補助事業を試行的に始めています。地域が自立していけるような実態になればいいかなど、議会としても補助金の使われ方を見ています。

まずは取り組んでいき反省もあると思いますが、いいものを作ってあげればいいと思っています。議会としては補助金を有効に使って頂けるような状況を作っていき、皆さんと知恵を絞り、一緒に頑張っていきたいと思っています。

●●さん

方向性がある程度持って進んで頂きたい。

佐藤議員

行政は行政の、市民は市民の、お互いの役割を発見してお互いでまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。本当の協働のまちづくりが今、緒に着いたと思っています。

●●さん

防災についてですけど、たとえば井原市の災害で命が一番危険な災害というのはどんな災害だと思われますか？

三輪（班長）

何が一番危険なのか、これは予見が難しいです。

●●さん

水が一番危ないんです。何よりも水に対する対策をどうされますか。

水の事故、海の事故何が一番目につきます。救命胴衣を着けていないのが一番でしょう。救命胴衣を着けていたら助かる例はたくさんあるでしょう。レジャーにしても韓国の沈没にしても、そういう水害のところに一番に出ていくとしたら消防、自治会長とか、そういうところに出ていくものには救命胴衣を支給するとかそういうような対策をしたらいいんじゃないのか。

三輪（班長）

消防団にライフジャケットを配布するようにしています。山の事故にしても海の事故にしても、完璧な装備はなかなか難しいです。すべての災害を予見することも難しいです。ですが、自らの命を守るということは基本的には自らがすべきことで、業者がするとかあるいは議会がするということではありません。

災害時のそれぞれの行動の基本は自分自身です。消防署とか消防団であるとか町内会にしても、自分自身が梁の下敷きにならば、他の人を助けに行かれない。大きな地震はこ

の地方であまりないですけど、なってみないとわからない。今まで予想もしないことになる可能性もあります。

しかしながらさきほどの防災計画でも言いましたが、「自らの命は自らで守る」ということが基本だと思います。しかし、地域の事は地域で知ってないといけない。例えば、あそこのおじいちゃんは足が悪いから誰が助けにいくんな、というのは平時の段階で決めておいて、いざそのときはリアカーを押してなどして避難場所に連れて行くとか、それは皆様方しかできない。これに行政や議会が関与することは難しい。

●●さん

関与してくれとかじゃなく、例えば議員さんがライフジャケットもつとるかと言えば持ってないでしょ。今回はヘルメット支給してとあったけど今まではしたことないでしょう。革靴はいて長靴はかないで防災訓練行って何を考えているのか、恰好だけでも災害に対しての前向きな恰好だけでもしなければ市民に対して示しが見つからないでしょう。助けに行くのも市議員さんとか、市の職員とか一番にいかないといけない人が、手ぶらで行って何の役に立ちましょう。それくらいのことは給料もらってるんだから用意してもそれくらいのことをしても市民に対してもやり過ぎなことはないでしょう。自分の給料でしろという前に行政がそういう姿勢でいることがしかるべきでしょ、それから徐々に個人でそろえなければというものが出てくるし、私が言うのは行政のほうが仕向けていく、そういう心構えを教えていかななくてはならないのに、なんもなしに防災ヘリが来るから見とけとかそういうもんじゃないでしょう。防災なんだから、恰好だけでも災害に対してこういう恰好で助けにいくんだ、とか、こういう仕事をするんだ、という恰好をしないと。「雨降って中止」とか何言ってるんだ。災害は雨でも地震でもそういうなときに起こるんだから、雨が降ってもするべきでしょう。雨が降ったらこういう風にするんだと。

●●さん

関連でいいですか、瀬戸内地方はため池が多いんですが、今現在この地域で一番の災害は大雨による洪水土砂災害土手の決壊。今県主の個人池、個々が管理しています。いつ崩れるかどこが責任とってくれるのか。

藤原議員

個人池は基本的に相談を受ければ担当課が対応しますが、基本的にため池は皆さんがもっている水利組合ですか、そういう形なら農林課はすぐきますし、定期的に淀から全部、私見させています。

●●さん

今、イノシシがおって蛇を食うんです、土手を掘る。災害だけじゃなしにイノシシの害

で土手が崩れるんじゃないかと。

佐藤議員

今国自体が、災害に対して橋・トンネル・ため池等々全国的に調査しながら改修するとかしないとか全県活動が進んできているところであります。そうしたなかで井原市も予算がついて点検しているところでありますので、●●さんからもありましたが井原市でどういう災害が起きやすいのかと一番危険度は何かといいましたら小田川の決壊が想定されるわけです。おととしから芳井町で小田川の決壊を想定した総合防災訓練をしました。芳井では生涯学習センターを避難場所とし、防災グッズの展示、いろんな指導をしてもらるようにしました。去年は井原の公民館で小田川が決壊したと想定して防災訓練をしました。今年はお出部町で災害を想定した防災訓練を実施する予定にしております。

一番井原市で危険度が高いのは小田川の決壊ということを想定で対応しています。

●●さん

小田川の決壊より県主の決壊のほうが、一番に崩れるのはこっから下で。

佐藤議員

そういったことで溢れたりしますので、このことも考えながら今取り組みをやっているということです。それから井原市では防災・減災ということで災害が起きることはある程度覚悟しておかなければならない。起きたときに被害者を少なくするのが減災。普段からの防災訓練とか組織化、備蓄防災リーダーの育成。そういうことを行政が取り組んでいる防災士としての資格、民間資格ですけど各地区で一名の防災士を育成しましょうと今までに11名養成し、今年も予算議決しています。

●●さん

県主では上の方の改修が進んでいます。まだ肝心な下の改修ができていない。30年も前から改修しますと言ってできていない。小田川崩れる前にこっちが崩れる。

佐藤議員・・・★

その話は私も今日初めて聞かせてもらいました。地元の声として今日持ち帰らせてもらって再度議会の方執行部のほうにどういった方向性を質します。

●●さん

小田川の洪水とか県主には直接関係ないですが、大水が出たから決壊したのを見に行かないと、市の方でこうようにしてるのだから全国的にやってるんだからやってならいいですが、命が失われると言ったら何か、他よりは水なんです。丘で5分いったらだいぶ生き

てますが、水で5分と言ったらあっという間ですわ。周りができることと言ったら沈んでしまわない対策でしょう。

これは県の仕事、これは市の仕事とか言うてはっきり言うと井原市の行政自体が県に陳情もせんしなんもしてないんじゃないのかと。

藤原議員

たしかに●●さんがおっしゃる通りなんですけど、県は県の仕事、市は市の仕事と分かれています。けど、災害復旧というのは確実に県からお金が出て市がやるようになっていっています。災害復旧をしたときにそのあとの問題なんですけど全体的な予算は県がつけて出すんですけど、それにつきまして先ほど言われましたように要望を出してないわけじゃないです。われわれも一所懸命、県の維持管理課のほうへ要望、陳情しています。

三輪（班長）

ため池のことなんですけど、先ほど佐藤議員も言ったように市内85か所危ないと思われるところ、優先順位はありますけど、予算的には確か1100万、85のため池を中心に点検をやります。

今日本は防災から減災という方向で災害があっても未然に食い止めようと、お金をかけてやろうとしています。老朽施設もありますし先ほど言われた河川のこともあります。あとため池のこともあります。日常点検は、各地域の方にやっていただいて何かあったらすぐに議員であれ担当部署であれ連絡いただいて、皆さんといっしょに知恵を出し合って解決していきたいと思います。特に門田川は氾濫河川になっていますから県が中心になってこれからもやっていくということで、身の回りの危険については常にお互いが点検しながら取り組んでいきたいと思っております。

●●さん

わざとため池行ったのは大谷地域は市道なんですよ。農道じゃなくて市道だからできんとそこを埋めてくれというんですが金がないから埋めないと埋めるだけなんだから埋めてくれたらいいが。

藤原議員

そういう意見は聞いております。土を埋めるとです池とか樋とか水門がですね。どうせやるんでしたら、少しのことはするんじゃないでちゃんと計画を立ててですね、張りコンとか張りブロックとかしていく計画をですね、一応なんですけど私の口からですが農林課長の方にはお伝えしています。

●●さん

井原市全国的なことなんですけど、特に県主というところは去年25年度4人出生してるんです。で、今4年生が2人、去年から今年にかけて10人小学生が減少してってます。

この調子でいったら複式、3年生と4年生が複式になるんじゃないかと心配したこともあるんですが、このままずっと少なくなっていくたら、たとえば中学校区で一つになるとか美星や芳井のように、そういうようなことも考えられてるんですか？それとも子供を増やす方法とか今、市民福祉関連で保育、子育てとかに該当すると思うんですが、政策的に考えがあるんでしょうか。

佐藤議員

現状的には子育て支援という形は、環境作りという形では取り組んできております。結婚しない世代が非常に多くなっています。結婚はしたいけど、できない人もいます。婚活という形で企画を予算化し、井原市だけの婚活の取り組みはできないので笠岡、浅口と共同しながら「出会いの場」を提供しています。

子育て幼稚園・4保育園の整備のなかで、三歳児保育とか延長保育とか幼稚園保育園といったこの拡充です、幼稚園の食事、給食の整備、中学校までの子育て支援制度医療費の無料等々、井原市は先駆的にそういった取り組みをしつつ、子育てをしやすい環境を作っている方だと思っています。ですがなかなか子供を産むという段階になりますと行政がなかなか言えないので、外堀の環境整備だけは行政は積極的に取り組んでいこうというかたちでおります。また市長も公約で保育料の軽減化対策も取っておりますし、井原市は子育てをしやすい環境をいろんな形で今とっている状態であるということでもありますけども、一日二日一年二年で結果が出るというのはちょっと難しいというのが現状と理解しているところであります。

藤原議員

それこそよその地域を垣間見ますと、一人子供が生まれることに対して補助金がだいぶ出るとかそういう政策をする。そういう政策をすると一時期増えるんですけど今度は整備として幼稚園が預かり保育をするようになっていきます。三歳児教育もしていきます。保育園の仕事をどんどん幼稚園がとって行って教育の場にもちっちゃい子からしていかなければならない。その延長上に小学生に入学すると預かってくれるとこがなくなりますよね。今現状、お父さんお母さんが働いている、昔我々が小さいころでありますと、かぎっ子の子供が多くなってきます。その子たちをどこでみてもらうかということになれば、おじいちゃん、おばあちゃんがいられる家庭はいいんですけど、そうでない方は「放課後児童クラブ」がございます、この放課後児童クラブは、平成26年～27年度、国・県から井原市に委譲し、きちんと市で経営していくことになります。県主の農協の倉庫を借りられとる倉庫を設備の方、大江とかもの農協を借りられててほんとにかわいそうな場所なんです。

議員も現場に行きましてなんとか26年27年でどういう方向性をつけて、働いている親御さんの代わりに安全にみられるような場所の確保ということを今進めていってるところです。

子供ができる環境は結婚していただかないとなかなか子供ができない、結婚してもなかなかこういう不景気な時ですから、一家に一人の子供しか生めない状況になってきているので、その手立ては今後我々も総務文教委員会も考えていくべきだと今年から委員会として、子供を育てる環境、学校環境すべてに対して一年間かけてみんなで頭を絞って考えていきます。時間はかかりますが貴重な意見をいただいたので進めていきたいと思います。

佐藤議員

関連です。総務文教委員会もそういう取り組みをしていこうとであります。市民福祉委員会も放課後児童クラブの拡充という形で、これからアンケート調査をさせていただいて運営委員会の方や指導員の方の皆さん方から頂いたいろんな声を聞きながら、そういった声の中から一番どういったものが喜ばれるのか、この議会中に各児童クラブにアンケートをお願いし、これを集約して一年間の所管事務調査として来年度その方向性ができたとき行政に、今こういった要望がある、と訴えさせてもらおうと準備を進めているところであります。

三輪（班長）

3つの委員会とも、今までにない取り組みをしています。具体的には、各委員会で通年を通したテーマを設け、所管事務調査をするようにしています。

●●さん

政府は農業改革と言ってどんどんしているけど、井原市の場合農業委員会というか、そこで検討されているんですか。

三輪（班長）

お金の見れば一般会計二百億あるんですが、農林業への投資額は約6億円弱です。井原ブランドをどうやって発信していくのかとか、井原という地名を、井原産ということをやうまく組み合わせ、みんなが元気になるような取組。

その中には、後継者という問題ですとか規模の問題、機械化の問題もあります。肥料の問題もあります。いろんな問題があります。そういう問題を井原の中で農業を起し原点に返りながら変える中でやっていくなれば、皆さんも問題を持ってらっしゃるわけです。JA改革を今国がやっていますけど、地域の方もいろんな部会を通してされています。そういうアイデアと過去の蓄積をもとに、新しいTPP時代に取り組まなきゃいけないものがいっぱいあります。一緒になって知恵を出して頑張っていきたいと思っています。答えに

なっていませんが、決しておろそかにしていいテーマではございません。大きなテーマとして井原市の農業でめしが食える、そういったものを目指していきたいと思っていますのでご理解願います。

●●さん

農業で一番考えないといけないことが中間機構だと思うんですが、現段階で公団が受けることになってる。それを受けて各市町村でどうなるかわからないんですけど。

三輪（班長）

農地集積に関しては、ちょうど新しい予算もつきまして岡山県も三月から機構をスタートさせてます。場合によれば市町村に委託もできます。地域の実情を知っているのは市町村なんですから。この農地が誰のもので、荒れてるところはこう使っているけど拡大したいとか、いろんな情報があります。農業委員会もつかんでいます。県の方で帳簿上の管理は行いますが、実際の土地の動き、人の動き、いろんなものの動きは地域が一番知っていますから、県がすることではなくて逆にこの仕事を市のほうにおろす可能性もありますから、農業委員会も含めて、その土地の流動化つまり土地の集約そして相続にかかる浮いた土地のこともあります。そういったものを全般的に進めていくこととなります。

●●さん

5、6年も前から一番農業をしていてガンとなるのが水なんです。だから今、市の方にお願ひして中山間事業でパイプを入れてますが来年には完成します。次の問題は規模拡大しようと思っても今の土地じゃだめです。そうするとどうしても構造改善とか、やっぱり市の方の助成が必要になってくるんじゃないかと、お金のいることですが。

三輪（班長）

余談ですが農業ではいろんな政策とか動いてきています。あとは耐えていくのは私たちなんです。私たちも知恵を出す、国は絶対正しいことを言うわけでもない。そこは地域の力と知恵でカバーする。ですから今までの経験を新しい時代にぜひ生かしていただければ

発言者聞き取り不明

放課後児童クラブの整備について

ハード面の整備はできると思うんですが、指導員さんがどこも困っておられると聞くんです。私の知っている範囲ですと、やはり手当てがあまりで高くない。そこで時間をつぶしてまで指導員は難しいと、予算的なものはいくらか考えているのか。

佐藤議員

一昨日、市民福祉委員会でアンケート調査、所管事務調査として放課後児童クラブの拡充についてどういった方向性で行ったらいいかというのを2時間くらい話しました。指導員さんの今後は資格の有無が問われます。今後の課題です。報酬も保護者の負担によって運営委員会の方でこれだけでお願いします、というご理解をいただいてという形になっておりますので今の運営体系を取っています。じゃあ資格を取っている方になっていただくというのも厳しい状況もあるということも声がでました。そういったことの中で行政に今後そういった意味での保護者に出していただいているお金プラス行政の方の補助金というのも今後考えられんじゃないかという話も出ましたので今の現状を再度アンケート調査をさせていただいて把握したうえで自分たちも視察して給料面についてとかいろんなことを勉強しながら行政で訴えられるところは訴えていこうと話をしたところです。

藤原議員

昨年ですが放課後児童クラブの会長をさせていただきまして、市内14施設の中を全部歩かせていただきました。今言われてるように、給金の問題いろいろあります。

その問題も踏まえた中で、例題的に井原の放課後児童クラブの時給900円にしたんです。900円にしていく中で子供たちが20人から35人までですと、補助金が200万程度なんです。その200万程度に子供の負担金いただきます。小学生3年までが4000円であるとか4年生以上が3000円であるとか幼稚園を見てるとこは5000円であるとかですけど、井原町で37、8人いる中の親御さんの合計負担金が170万程度。それを合わせますとトータルで370万程度になるんです。5人の先生を雇いました。一人は幼稚園の先生がおられます。免許をもたれてる方、発達障害の子供も一緒に預かっています、それは370万とは別に157万の補助金が出るんです。それは一人でも二人以上でも157万円です。今、佐藤議員も言われましたように、そこの部分も全部井原市が管理していくようになりますので国が県を県が市を指導してきましたが、平成27年度から県から市へ変わります。で、実際、県主の子供たちは少ないんです。僕も見させてもらって親御さんの負担金と補助金を合わせても、かつかつという状態なんです。36人からですとそこだけで320万になります、井原の場合は別に157万円出ますので親御さんの負担金入れてもざっと650万くらいになります。それくらい出ますと蛍光灯をLEDに改修したりとか、火災報知機をつけるとか今どんどん施設の環境整備をしています。今、市民福祉を含めた中で給金の問題ですが、時間給850円を国が補助金を出します。指導員には時間850円全額出すんですけど朝から晩までない3時間5時間の中でローテーション組んでいると、ほんとに給金が少ないし、子供ってホント元気いっぱいなんで、指導員が疲れてしまうから勤まる方もいない。そこで千円位以上になれるように、県のほうが月に一回講習を受けてそこで試験を受けて合格すると次の月に講習を受けて試験を受けて12回の講習の中で試験に通ると県の方から指導員の免許をくれるんです。それがありま

すと、給料も時給850円の補助金プラス皆さんからいただいている負担金500円アップしても1350円であるとか免許を持っていれば高くなる、いわば今は段取り期間中です。全体14施設ある中で、施設も民間から借りていけばハードな面で市も補助を出せないなので、学校の空き教室だったり市の財政からつぎ込まれる状況を作っていこうと取り組みをしています。

昨年から「子育て三法」という国の法律ができましたので、それに取組んでいます。子供たちがちゃんと見てもらえるような先生を入れていくように考えておりますので、もう少しお時間くださいますようご理解いただければと思います。

以上

様式第1号（第11条関係）

平成26年 6月 4日

井原市議会議長 殿

第2班 班長 簀戸利昭

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年 5月16日（金） 19時30分～21時00分
開催場所	野上地区 「野上公民館」
出席議員	簀戸利昭、森下金三、大鳴二郎、三宅文雄、河合謙治
参加者数	27名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり
備考	

第4回 野上地区（5／16：27人）

番号	要望等の内容	回答	対応
1	たばこ税の割合を教えてください。	平成24年度は2億700万円、平成25年度は2億3000万円です。	回答済
2	鉱産税は何があるのか。	JFEが採掘している石灰岩にかけられている。	回答済
3	市民病院内組織の一部改正はなぜ変更があったのか。	市民病院内部のことで、必要になったので改正されたものと思われます。	回答済
4	子育て支援課関係で、放課後児童クラブの2階の使用料として、細見住宅の10軒の自治会費から5,000円/年払っている。5～6年ぐらい一度も使っていないのに、なぜ払わなくてはいけないのか。掃除もしている。もともと野上住宅と細見住宅で借りたものであるらしい。	5,000円はどこに払っているのかわからない。住宅全体の意見も統一しなくてはいけないのでは。	回答済
5	市内の中学校では、いじめの問題はあるのか。教育委員会は、しっかり対応しているのか。	あったと聞いています。所管事務調査にも取り上げ対応していきます。	回答済
6	美星町の平松・長草線の一部が非常に狭い。スクールバスも通っている。側溝によく車を落としているのでもう少し広く出来ないか。	通ってみて確認します。	回答済
7	県道美袋井原線で3ヶ所、スピード取締りをするところがある。同じ県道内では多すぎる。まして、40km制限である。なぜ40km制限なのか。どうしたら改定出来るのか確認してほしい。	公安委員会が決められていることで、議会で判断出来ないことである。	回答済
8	有害鳥獣で、動物愛護でクマを野に帰したり、サルも色々問題がある。ペット税を取って、駆除等に回していくのはどうか。	駆除はしているが、それ以上に増えている。駆除している人々も高齢化して人数が減ってきている。	回答済
9	介護に対して報酬が少なすぎるのではないのか。	個々の施設によって報酬が違うので判断しかねます。	回答済
1	生活保護費をもらっている件数はどれくらいなのか。（前年に比べ何件減ったか）	井原市はどうか確認してみます。	未回答
2	市有林について、松食い虫等でひのきや杉を植栽され、その後の管理をどうされているのか。木も伸びっ放しである、	山火事があったところなどは植林したりしているが、市としては、なかなか手を入れていないのが現状である。担当課に連絡しておきます。	未回答
3	市内施設に防犯カメラは何台あるのか。	何台あるのか、調べてみます。	未回答
4	AEDはへき地ほどいるのではないのか。価格はどれくらいするのか。	どれくらいするのか確認してみます。	未回答
5	有害鳥獣で、低い順から、ヌートリア・タヌキ・ハクビシン・イノシシ・シカ・サルと、一人が一匹でも取るという信念で、免許がいるなら。保障して必ず資格を取る。また、講師を招いて講習をするなどして、捕獲出来るようにする。趣味で捕獲するのではなく、専門家を育てる。捕獲期間ももっと増やす。11月だけではない。年中出来るように。時間はかかるのはわかるが、長いスパンでやっていってほしい。	狩猟免許は、年間10人で、4,000円/1人の補助が出ていますのでご利用ください。 1	未回答

様式第1号（第11条関係）

平成26年 6月 3日

井原市議会議長 殿

第3班 班長 西田久志

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年5月17日（土） 19時00分～20時35分
開催場所	青野地区 「JA岡山西 青野店舗」
出席議員	西田久志 坊野公治 藤原清和 宮地俊則 荒木謙二
参加者数	86名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙参照 ※未回答 別紙参照
備考	

市民の声を聴く会要望事項等 青野地区(回答済分)

番号	地区	担当班	内容	回答
1	青野	3班	行政視察の効果について	所管する事項について先進地視察を年一回行っています。非常に熱心に勉強をされていてすぐにか、翌月に結果が出るとは限りませんが、研究し、議員が肉づけをしながら、一般質問などで執行部に訴えています。それにより実現した項目もいくつかあります。先進地の視察は、勉強になり、効果があるものと考えています。
2	青野	3班	支障木の撤去について、広報にも載っていましたが、具体的に説明をしていただきたい。市道と県道に面した木が、道を塞ぐ手前までかかっている場合、何メートルぐらい切れるとか、市有地は市が、民有地は民がやるとかです。例えば、市民の手でする場合、いくら費用を市はみてくれるのか、説明をしてください。	自治会単位でしていただいている草刈ですが、1m25円、両側で50円で農林課管轄です。支障木については、基本的には市有地は、市で対応しますが、民有地は、所有者でしていただきたいです。支障木撤去については、協働推進課管轄で北山地区で、今回されたと聞いていますが、本年度、4月1日より1m当たり300円です。その区間に木がなかった場合は、市の関係部局が確認し、支障木の区間に入るかどうかということを確認します。また、県道につきましては、県に伺いをたてていかなければならないということです。所有者が、高齢者であるとか、遠隔地に住んでおられるとかの場合は、特例としてなんらかの方策を考えておられますが、基本は、民有地は、所有者でしていただきたいです。
3	青野	3班	青野地区には、信号が一つもありません。青野小学校の子供たちが交通のルールとか、信号の渡り方とかがわからないと思うので広域農道のところにも設置をしていただけないか。	信号の設置は必要であれば、地元の総意で設置できる可能性はあります。信号、また、一旦停止とか規制は、警察の管轄になります。カーブミラーとかは、安全施設なので、市の管轄となります。また、子供たちの交通指導につきましては、様々なかたちで、学校で行っていると考えます。
4	青野	3班	執行部が行う「市政を報告する会」と議会が議会基本条例に基づいてされている「市民の声を聴く会」がダブって感じる。市政に関する意見、要望、行政の執行に関する細かいことの要望はどんどんしていくのもいいとは思いますが、議員の立場で即答できるもの、そうでないものがあります。それから、議会基本条例は非常によくできていて、全国でもかなり早い段階で、県下では初めての施行で、地方の時代、また、地方の活性化が非常に難しい時代にあって、非常に有意義な発信をされていて、誇りに思っていることです。ただ、これが議会基本条例という一つのルールの下で、議員個々のみなさんが平準化されることを求めているのではないと思えます。議会ですので、議会の意思というのは当然、民主主義にのっとれば、過半数で決したものについては、議会の意思となります。しかし、議員の皆さんは、有権者の代弁者として出られているわけで、一つの問題が出たときに、それぞれの解決の方法というはおそらく、いろんなご意見があると思えます。そういったことが、こういった場でも何らかなかたちで議会の中の状況のわかるようなかたちを発信されれば、もっと市民の皆さんが、興味のひくものになると思えます。成果を見ますと、地区によって温度差があり、「市民の声を聴く会」でも温度差があったりするの、執行部がやっているのと、何が違うのかわからないのではと思えます。この会は議会基本条例に基づいて、開催されています。そこで、平成23年度と24年度と検証結果が公表されていますが、23年度の内容はたっぷりあって、24年度は少なくなっています。そのあたり、どうして少なくなってしまったのか伺います。その中で、気になったことは、傍聴をできるだけ市民の方に呼びかけておられますし、取り組みの中にも訴えられています。休日議会、委員会の開会を思われているのか伺います。	執行部は執行機関、議会は議決機関です。この会の目的は、議会として何ができるか、いろいろな人の意見、要望を聞くことによって、議会の立場として答えをだせればとの思いです。議会として、要望を聞くだけでなく、これからの井原市をどうしたらよいかを考えていく会であると理解しています。議会基本条例は議員が個人の責務は明確でなかったため、文書化する、明文化することです。執行部との関係は従来、曖昧であったので立ち位置、それぞれの位置関係を明確にするなどいろいろあります。議員が、平準化するのでは、個性がなくなるのではとの意見ですが、それはないと考えます。それぞれの地域から、また、それぞれの方から支援され、投票されている議員ですので、最低限これはしなければならぬという縛りしているのが基本条例です。議員というのは、チェック、議決機関でもありますが、それ以外の仕事に関しましても、多岐にわたっています。執行部と議会の、この会の違いについてですが、細かい要望については、執行部でも、議会でも対応は変わらないと思えます。今後の考え方、企業誘致、福祉関係、その他多岐にわたりますが、提案するとしても、執行部では無理な場合でも、例えば、議会ですと今現状では無理かもしれませんが、データを収集したり、必要であると思えば一般質問したりと、いろんなかたちで執行部のほうへ働きかけていきます。これが一番大きな違いと考えます。次に、検証結果ですが、年度によってボリュームが違うとのことですが、検証は大学機関にお願いしていますので、先生が途中で変わられたためボリュームが違って来たのかと思えます。それと、1年目は手探りで、頭も打ち、手直しされたりとか、また、評価されないこともありましたが、徐々に改善していきたいと思えます。休日議会、夜間議会のご提案もありますが、基本条例の中にも謳っており、検討しましたが、他市の実施しているのを検証をした結果、休日、夜間議会は、あまり効果がないと考え、実現に至っていません。ただ、休日、夜間議会の要望があるとか、効果があるとか、若い方が来られるような工夫があれば取り入れていく考えは常にもっています。

市民の声を聴く会要望事項等 青野地区(回答済分)

番号	地区	担当班	内容	回答
5	青野	3班	説明をいただきましたが、自主財源の将来がおぼつかない状況となります。執行部と議会はどのような方策を、また、財政調整基金等の積み上げ等をどのような考えでもっておられるのか伺います。	合併特例債、10年間いただいてきましたが、これから、交付税が5年間で徐々に減ってきます。基金等の積み立てをしていますし、残ったお金を、無駄に使わないように残し、ありとあらゆるものに使えるように基金として積み立てしているのが現状です。人口も減り、いろいろな面で収入が減るということを危惧をしていますので、基金の積み立てを大前提にしています。また、交付税以外にも、取り組みによって、国からの補助金で有利なものがあれば取り組んでいく姿勢です。これからの10年間については、今後5年間で交付税が減っていくことは当初からわかっていたことです。執行部も余裕があるときに積立をし、昨年も6億円を4基金に積立しています。また、歳入が減りますので、歳出を如何に減らすかです。本年度は過去最大の約200億円の予算編成を行っています。その使用目的については、選択と集中、必要などころに手当てしていくことでバラマキを廃止する方向です。補助金とか見直されて、絞られて、やりにくくなっているとは思いますが、ご理解をいただければと思います。これからは如何に歳入を増やしていくかを考えていかなければなりません。市税は現在41億円ありますが、自主財源は3割で、あと7割が地方交付税とかの依存財源です。したがって、自主財源を増やそうと思えば、市税を増やす。市税を増やそうと思えば、市民を増やし、住民税を増やす。また、市内企業の法人税を増やす。そのために、経済雇用対策としてイバラノミクス、16本の矢を打ち出しています。選択と集中で歳出を吟味し、井原市の活性化によって、税収を増やし歳入を増やす、その両方を同時にやっているところです。
6	青野	3班	放課後児童クラブについて尋ねます。青野地区では、今年1名の入学があり、全校で、32名となりました。何年も前から減少傾向にあり、この傾向がいつまで続くかわかりませんが、青野地区だけでなく、井原市全域で児童数が減ってきています。少人数の学校の子供たちを対象に行う放課後児童クラブというのは、1人 2人減っても大変なことになります。20名以上の子供が通っていれば、国から、放課後児童クラブに、委託金として、200万円近い委託金が出ますが、19人未満と1人でも減ると100万円くらいの金額が減ります。青野の児童クラブは25年度は20人を超えていましたが、26年度は19人となります。そうすると国からの委託金が100円近く減ることです。1人減っただけで、一度に100万円もの額が変わっていくこの制度を、1人減ったら10万円減るとか、2人減ったら20万円減るとか、この額の差を小さくしていただきたいという要望が非常に強いです。他の学校の児童クラブにしても同様であると思います。子供たちが他の学校でもだんだん減ってきていますので、こういうことが起こる学校の割合が高いと思います。ですので、議会として、市政として、皆さんの要望に合うようなかたちに前進しているのか伺います。もし、前進していないのであれば、市内の児童クラブの実態をしっかりとつかんでいただきたい。また、保護者の声をきいて、要望が叶うような方向にもって行っていただきたい。来年度は、放課後児童クラブのガイドラインが変わる年です。井原市でもこれから作るそうですがしっかりと協議をしていただき、地域の保護者の声をいっぱい吸い上げていただいて、前進するような努力をお願いしたいです。	市民福祉委員会が本年度の1年間かけて行う所管事務調査として、まず1点は放課後児童クラブのあり方についてです。もう1点は、子ども・子育て支援で新制度について調査・研究をまいります。子ども・子育て新制度は、平成27年度施行の目標です。子ども・子育て会議のなかで、井原市にとってこの新制度がどのような仕組みでいいのか、また、自治体からの声を吸い上げられる法律を策定しています。新制度はどういったところに力を入れているのかと伺いますと、待機児童の解消、幼保一体の施設を作るべきかどうかの検討、施設の質の向上、指導員の質の向上をメインにしています。また、放課後児童クラブのあり方についても検討するようにしています。市民福祉委員会としても、執行部にこの新制度について話を聞きまして、子ども・子育て会議で上がっているご意見を私たちが取り入れまして、どのような放課後児童クラブのあり方がいいのかを検討をまいります。補助金のあり方についても新制度で変わるといわれています。国・県・市からそれぞれ1/3づつ、今は、補助していますが、補助金のあり方は、まだ、はっきりと示されていませんので、具体的なことは言えませんが、こうした意見が地元から出たということ井原市の、子ども・子育て会議において、話をし、それを国にあげていくという仕組みになっていると思いますので、ご意見を委員会でも検討し、井原市の、子ども・子育て会議に提言できればと思っていますので、しっかりと、承って帰ります。
7	青野	3班	高齢者、障害者の公共交通についてですが、便利がいいように どうにかならないか。要望です。	どうい公共交通がいいのか、検討まいります。

市民の声を聴く会要望事項等 青野地区(未回答分)

番号	地区	担当班	内容	回答
1	青野	3班	寿恵宗住宅の下の市有地に茅が生えているが、伐採をして、市の花とか芝桜とかを植えればよいのではと思います。	持ち帰って、回答します。
2	青野	3班	数年前、桜橋の上に駆除対象になっているヌートリアがおり、農林課に電話をしたらそちらに行くからしばらく待ってくださいと言われました。30分ぐらい待ちましたがなかなか来ませんでした。来たら、ヌートリアを確認してから市の職員では法で処分できないので猟師を呼んでいました。かなりの時間を待ち、無駄が多いと思います。市の職員に猟師の資格を取る制度を設ければ、スムーズにいくのではと思います。また、猟期になると、柵をなんで閉めるのかわかりません。	持ち帰って、回答します。
3	青野	3班	井原市の特産品でもあるぶどうはこの高地から生まれ、時代に沿った大粒径を、しかも、いろんな種類で生産しておられます。ぶどう部会においても年々病気の種類等も変わり、現状を維持するのは大変ということで、市外の方にもお願いしながら、踏ん張っておられます。特産品、また、農業振興をしていくうえで、いろいろな農産物を作って市場に速やかに出荷するには、道路が必要であるということで、当時、井原・芳井の大規模農道を作ろうということで、査定して、国からも許可がでました。いまは、井原市分についてはほとんど完成しています。合理化していくには、ぶどうで言いますと選果場を周辺にするとか、当時、家畜とかいいますと、糞尿処理とかの施設を作るとか、また、芳井においては、ごぼう、当時は、ホウレン草も非常にやっていたんですが、それらの選果場の整備体制が何一つ、できていません。道路だけはできましたが、それと合わせて施設整備等が国も認めているのに進んでいません。現在、要求されているぶどうは、いろいろな種類を生産されていますが、合理化することです。JAも継ぎ足して、選果場を整備していますが、これらもまた新しい道具を中に入れていかなければなりません。どうせなら、当初計画のあった広域農道の周辺にも、新しい選果場を建設して、新しい中身のものをやっていただけるなら、市場に出荷するのにルートも速くなったり、みんなの労働も軽減される機械も入ってくると思われます。ぶどうばかりではなく、芳井ではごぼうもありますし、新しいものも出てくると思われます。付帯施設の整備も合わせてお願いしたい。道路だけ、進んでいくのはおかしいのではと思われます。行政にお願いしてもらいたい。	青野地区では、選果場の整備、堆肥置場の整備、荏原地区ではライスセンターの整備、の約束を聴いていたのですが、うやむやになっていると気がすると言われたと思いますが、持ち帰って回答します。

様式第1号（第11条関係）

平成26年6月4日

井原市議会議長 宮地 俊則 殿

第4班 班長 三輪 順治

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年5月27日（火） 19時30分～ 21時15分
開催場所	西江原地区 「西江原公民館」
出席議員	三輪順治、井口勇、佐藤豊、藤原浩司、柳井一徳
参加者数	29名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり・・・★を付しています。
備考	

第4班担当 第4回市民の声を聴く会 主な質疑応答・提言等
とき 平成26年5月27日(火) 午後7時30分～9時15分
ところ 西江原公民館
参加者 まちづくり会長、町内内連合会長、公民館長ほか29人

●●さん

自主防災組織について

平成25年の1月の新聞によりますと、井原市の自主防災組織は100%達成となっている。ところが議会だよりを見てみますと、そうではなくて、組織数は66団体となっています。

そうしますと、団体数の目標はどう設定するのか、また、カバー率100%というような数字は何を指しているのか具体的にわからない。どういう条件を整えば100%になるのかそのあたりがわかれば、お教え願いたい。

三輪(班長)

自主防災組織の捉え方ですが、自らの地域は自ら救わねばいけない、そういう取り組みが実際にできているところが自主防災カバー率といわれているものです。ですから井原市が岡山県に対して100%と報告されている点について疑問を感じていらっしゃる。

しかし、井原市が100%であると言われて以上、カバー率は100%なんだろうと。

実態は今言われましたように、これからお作りになられるところもあります。たとえば、婦人防火クラブの組織率につきましても、当時井原市の全域を占めていました。つまり市の全域をカバーするから100%だ、というご説明がありましたので、それ以上突っ込んで(執行部に)聞いておりません。

自主防災組織の強化ですから100%という数字にとらわれずに、自分の地域が危ないとなれば、防災対策の強化を強めていただいて、必要な体制を取っていただくと言うことで宜しく願います。

●●さん

もう一つお尋ねしたいのは自主防災組織というのは何をするのかいろいろ項目があると思うんです。それで100%、項目がわからずにこれが出て実は100%というのは平成25年度のときには県下で2市1町2村だけです。

ただし団体数は、井原市は具体的に66団体の組織化とは言いながら、何が何やらさっぱりわからんというのが実態でございます。これから先はよろしい。

三輪（班長）

自主防災組織をお作りになる場合は、井原市の方でハード、ソフト合わせまして50万円の補助金を用意されております。50万円というのは、たとえば発動機を買うとかヘルメットを買うとかにも使えますし、防災訓練の時の経費としても使えます。これをうまく活用して何をどうやったらいいのか、例えば、要看護者に対する支援体制をとってみましても、「このお年寄りを何かあった時に助けにいかないといけない、それではAさんBさんがイザという時にカバーしよう」というのをお作りになるのも防災組織の強化につながっていきます。また、危ないところを地域内で点検して回って地区の状況を絵に落としてハザードマップも見比べながら危ないときにここに避難しようという、そういう具体的な運用上の活動も自主防災組織の典型的な活動です。

地域に必要な経費がある場合はぜひ、井原市の補助金を活用してほしいと思っております。ただしこの補助金は、現在の運用上、1つの自主防災組織に対して1回使うと、向う5年間は使えないのでうまく活用してください。

佐藤議員

その団体数というのは、先ほども三輪班長の方からありましたけども婦人会、今は女性協議会に変わりましたけども婦人会という組織があったときに、婦人会が一つの防災組織だというとらえ方があったんです。とらえ方の問題で全地区にそういった組織があったから全地区が100%だというとらえかただった。

自主防災組織というのは、その地区の人が自主的に防災訓練をしたり、いろんな取り組みをする中で、地域として自主防災組織という形式を作る組織です。

設置に当たりましては、市の方から50万円の補助金が出ますので、防災式機材を整えたり、こういう訓練をしましょうという形がその地域ごとにできて初めてその自主防災組織が成り立ちます。

今徐々に自主防災組織ができつつあります。そこでは具体的な避難などの訓練をしたり、図上訓練と言いましょいか、テーブルの上でここが危ない、ここをこうしましょう、ここを避難場所にしましょう、というような形で今進みだしています。

併せて「防災マップ」と言いまして、ここが危険地帯であることを図示したものを全戸へ配布して頂くというような取り組みを徐々に進めているのが現状です。

●●さん

前回この会に来た時に、固定資産税のことで言いましたが、20年前に7万円の土地を値切って5万3千円で買いました。現在3万円で買ってほしいが2万円だといわれます。

それくらい実際の地価が下がっています。固定資産税の評価が2%や3%じゃない。何分の一になっています。それが5パーか6パーか7パーか定めておられますね。

税源の3分の1ほどが固定資産税の収入だろうと思いますが、実際、固定資産の価値が何分の1とかになっているのに、いまだに数パーセント、しかも相続税とかきましてたとえば西江原で3反、4反持っていますと控除がありません。その他財産になると、それすべて相続税がかかります。引き継いでいくと、ずっと控除がない。

前回のこの回でも、出席された議員に申し入れしましたが、「執行部に伝えておきます」と回答をいただいています、何にもなっていない。

「おしらせ君」なんか、もう1世代、2世代前の技術なんですよ。災害なんかあったら携帯にすぐ情報が入ってくる。「おしらせ君」は近くにいないとだめだし、各部屋にあればいいんですけど、今現在3割くらいの人は繋がってないんじゃないか。

また、議員が開設しているホームページ（HP）を見ると、去年と同じままなんですよ。去年と比較しますと、同じ人しかHP開いてない。そういう現状では、言う資格ないと思うんですよ。だから「おしらせ君」みたいなのを賛成されるんですよ。

やっちなことを、もう少し考え戴きたい。歳費なんかでも、もっと落とさないで。

三輪（班長）・・・★

大きく3点です、去年のこの会の記録を拝見しますと、みなさんお手元にもありますように、「固定資産税評価価格が下がっておりますけど、税金がそうでない」と。「市税に占める割合が多いだろうが執行部に伝えておきます」と。こういうご不満だと思います。真正面からお答えが難しいんですが、市の税金の基礎としての固定資産評価額と言いますのは、民間の実際取引と比べて少し安く評価しているようです。

県下では、大体その税率は、評価額の1.4%となっています。岡山県内で1か所だけ、1.6%があります。ですから市町村によって差はありません。地価は、一般感覚として下がっておりますけど、全国的に固定資産評価というのはその地価を基本に皆さんの負担をいっぺんにあげちゃいけないと調整してありますが、それを一度に下げるとするのは先ほど言ったように、税収でも実は半分占めています。40何億のうち20億円くらいが固定資産税です。非常に大切な財源なので、井原市としても国の状況見ながら、都市経営の中で全国的な下落の傾向等のなかで、適切に評価されるものだろうと思います。

これは「固定資産評価委員会」というのが別にありますから、そこでも十分に議論していただくように再度執行部にはお伝えします。

本日の答えになりませんが、一般的な状況はそうなっております。

2点目 「おしらせ君」についてです。

携帯電話の普及率は全国で7割8割強いってると思います。お年寄りまでもお持ちでございますから、井原市では現在携帯メールを使つての「メール配信」をやっておりますから、登録さえすれば重要な情報はそこに載ります。「おしらせ君」も含めて、お持ちの携帯も井原市に登録していただき、有線・無線両方で井原市とつながります。

「おしらせ君」については、導入を決めたのは3、4年前でございますから確かに古くなっています、それは否めませんが、日進月歩で技術も変わってきますし時代も変わってきますので、「自分の命は自分で守る」時代。情報が命に係わることがあります。情報が無いと不安ですから、情報を多角的にそれぞれが取り組みになるように執行部に伝えます。

3点目 ホームページ（HP）についてですが、「議会基本条例」におきましてはHP等通して議員活動を市民のかたにお伝えしようということをスタンスにしておりますが、現実できていない、広聴広報委員会を中心として、今日のご意見を全議員に対しそれぞれの取り組みを頑張ってもらおうよう伝えます。

●●さん

落差が大きすぎる、固定資産税評価委員にも聞きましたが元々が安くしているので仕方ない。西江原も美星のようになりますよ、支出を下げないとダメなんですよ。

三輪（班長）

答弁は、差し控えさせていただきます。

●●さん

10P工業用水道の会計ではないのですか？

三輪（班長）

工業用水道の間違いです、申し訳ありません。特別会計として公共下水道というのはあるんです、企業会計としては、地方公営企業法の適応を受けているのが工業用水道です。

●●さん

先ほど●●さんが質問していた延長になると思うんですが、地方交付税が先々3年後には半分になるという、おいおいに知恵を出して考えていこうという話をされてましたけども、人口分布をみても子供の出生率もさがり、若い人の世代年代も下がっていったいろんな面で過疎化・高齢化が進んで行っているという説明。また、ゴミなんかも、一割削減すれば5千万使う税金が減ってくる、と言われてました。

将来構想の中で、議会として何年後にはこうして何年後にはこうやっていこうと、今どういう風に考えておられるのかを説明していただければありがたい。

三輪（班長）

手元に、井原市が平成25年12月に算出した「平成29年度までの財政収支見込み」があります。これによりますと、平成25年度で合計が196億円、平成29年度で196億円とほとんど変わってないです。中を見ると、地方交付税は81億千万円が70億5

00万円と見込まれています。地方交付税は11億円下がっていくが、反面何が上がっているのかというと国・県支出金が平成25年度で24億円、平成29年度が33億円と見込まれています。

その他の収入でも市税については42、3億円程度を平成29年度には見込んでいますが、あまり伸びを期待されていないようです。

自由に使える「自主財源」をいかに増やすかということに、これから議員全員が知恵を絞ってやっていかないといけない問題ですし、それはつまり井原市の総合計画、これを実現するために必要なお金になるわけですから、これの実現に向けてみなさんと議員はもとより市民の皆さんと一緒に、その実現に向けて頑張っていくとといけない。

要は厳しい財源事情に間違いございませんが、ここに書いてある少なくとも皆さんの幸せを基本にした計画を実行するために我慢するところは我慢し、育てるところは育てていきながら、市民のご理解を得ながら進めていくと、これに尽きると思います。これからは情報開示をどんどんしていくなかで市民の方と議論していかなくてはなりません。

佐藤議員

議員の歳費は合併当時46人の議員がおりました。今20名と半分以下に議員定数も削減されている中で、いろんな取り組みをしています。

議員としては何をしているのか、というのはそれだけ厳しい市民の皆様の声にこたえる議会改革をしていかなければならないんじゃないか、ということで2年間かけて一生懸命協議した中で議会基本条例を策定して、市民の声を聴く会等の取り組みにもチャレンジしていこう、また今までは視察に行っても代表の人が視察報告書を書けばよかったんだけど、今は全員が視察報告書を出すようになりました。それぞれ視察に対する真剣みが変わってくる。報告書を書かないといけないから視察先でも一生懸命勉強して帰ってきて視察報告書を出す。そういった一つ一つの改革のなかで、市民の皆様方の声の代弁者としてのふさわしい議員に一步一步成長していこうという取り組みをこの4年間やってきた状況にあります。

議会も4年ごとに改選がありますので、その都度新しい議員にはそういった取り組みをやっているんだよと引き継ぎしながら今、議会改革をやっている状況であります。で、先ほど市全体のことを言いますと私どもは総合計画というのを最高の規範として、この実現を目標にやっていこうというのがあります。そういった中で工夫できるところは工夫して、削減できるところは削減していくという姿勢で、今後議会としても取り組んでいきたいと思っています。

●●さん

私はそういった意味で聞いたわけではありません、有難うございました。

●●さん

パブリックコメントで提示しようと息子と話していたんですが、井原の海洋センターは月曜が休みでして、息子は理容の関係の仕事をしているので月曜は完全にシャットアウトなんです。僕もメタボ対策で活用させてもらって健康増進のため日々使わせてもらって日々感謝してるんです。そしたら理容関係の人はほとんど行かれないんだと、月曜に使いたいのに使えない、ASUWAがあるじゃないかと。ですが市の機関の方がリーズナブルな価格で使えるということで、そこらへんのことを潜在的に月曜にいかれないという方が他にもおられるかもしれないから明日行くなら聞いてくれと、言われたいので聞かせて下さい。

三輪（班長）・・・★

ASUWAは市の指定管理、表向きは民間の●●●というのが経営していますが、実は市が建設しまして、ですから市の施設です。これを指定管理者にお願いしているということです。民間のノウハウを生かしています。あそこは金曜が休みだと思います。

今の意見は市全体の施設運営にも関わりますので、持ち帰り報告させていただきたいと思います。

●●さん

施設関連という言葉が出ましたので、ここで発言させてもらいます。わたくし2回3回と出させてもらいました。違和感を感じたのが、議会の方が出て市民の声を聞かれるんですが、執行部的な意見交換、これはちょっと無理があるのかなあと私はもともとと思っています。執行部がどうしても答弁しないといけない問題が、どうしてもあって、だからどうしても出ていくと思うんです。そしたら答弁できない、持ち帰り報告と、今回はなくなるなどと思って期待を持ってきたんですが、どうも25ページ以降前回その前と変わらない項目になっております。

これをしますとその日の意見になってしまうんですね、そしたら持ち帰り、持ち帰りになります。2月の山陽新聞にございますように、ここで厳しく、「御用聞き」になっていると書かれてるんですね、私はその通りだと思ったんです。今回はないだろうと期待してきたんですが、こういう形になると来年からは、もう、ようこんなと思ったんですよ。人員を見まして24年の時に5人お見えになった3人は引退されてそのあとの二人はお見えになっただけですが、組み合わせはどうなっとなかなという疑義もありまして、なかなかこの意見交換は難しいなど。

だから趣を変えてやらせてもらいますが、予算書を議決後は図書館においてほしい、と提案させてもらいました。さっそくその対応していただいたて図書館行って見させてもらってます。その中からちいさな話を一点させてもらいます。それは芳井にあるASUWAの関係なんです、予算審議をされる中で管理費用、収入年間利用料ですね、どのくらいの、

細かい数字はよろしい、まずおたずねしたい。

三輪（班長）

ざっくり言いますと5000万円程度が指定管理費用としてかかります。ASUWAさん、予定以上に売り上げがあるものですから、確か1年間で井原市に300万円程度入ります。協定書の中で、民間の良さを発揮できるわけですから企業努力につながり、売り上げが役所が見越したものより多い場合は、井原市に返ってくる。結果的には委託管理費用は出すけども別に歳入も入ってきているという状況です。

●●さん

実は歳出予算が一般管理費にあるんですね。ASUWAの関係が、で、あの施設が一般管理費になるのかどうかどう思われますか？

三輪（班長）

井原市が指定管理する部門が、総務課で集中業務している関係で、一般管理費になりません。

●●さん

総務費の一般管理費にASUWAの委託料が入っています。で、条例は井原市芳井健康増進福祉施設条例です。で、例規集にはいっているのは厚生、衛生の健全の関係です、そこで条例の中に健康保持増進、健康づくり推進の拠点・・・なんですね、そういう目的を持って施設が私は一般管理費になるのかという、ここに疑問を持っています。費目が違うんじゃないかと、執行部対、議会でどういう議論をされたのかそこを、実はお尋ねしたい。

三輪（班長）

通常、一般管理費というのは総務費の中にありまして、この指定管理制度というのは総務課が主幹なんです。役所というのは縦割りでありまして総務課関連は総務費に入ります。ですから総務費の中の一般管理で処理されます。

中身が健康づくりだから、指定管理の監督者管理者は芳井の支所長になります。

●●さん

普通財産ですか、行政財産ですか？

三輪（班長）

これは行政財産です。

●●さん

行政財産なら総務費の一般管理費でないとは思っています、疑義を残して終わります。

●●さん

現実に起きている問題で●●で事故というか事件が起きました、この問題は二件、一件は、授業中に子供がかかわって大変な状況を起こして骨折。一步間違えると下半身まひになるんじゃないかと、親として孫として考えたときに非常に怖い

数週間のちに先生も事件に合われた。このことについてどのように分析され、今後起きないようになされているのか。近くに●●の問題も昨年度はたくさん出ていて、これを大事にしながら井原市の教育のモデルとして、これは岡山県でも高く評価され他県からも大変評価されている、となりでありながらこれがなぜ学びあい感化しあえないのか非常に深刻な問題じゃないのかなと残念に思っている。

市民として井原市を誇れる意欲ある街になっていると言えるだろうか、まず市民病院の問題、ほんとに安心して自分の病気を託せることができないという個々の声はそういう状況だと思います。笠岡へ行くとか矢掛へ行くとか福山へ出ないと命は守れない。

それから教育の問題も井原市は伝統ある教育の街として今まで培っているものが崩れていく大変な深刻さ。

それから若い人たちが、この街で働いて安心して暮らせるっていう状況になっていない、仕事をやる場がない、みんなよそから探さないといけないという問題、非常に深刻ではないか。

先ほど土地の話も荒れ地がどんどん増えている。外を見ると草ボーボーのたんぼが増えている。この中でほんとに意欲ある街になっていくのか、たまらないような不安を市民の一人として思っています。真剣に議員さんたちが考えているのか。

先日庄原に非常に大きな街づくりをしているというので観光で行ったんですが、市民と行政がマッチしてオープニング、庭をオープンにしていってそれを全国の人が見に来るといいう長い歴史の中の取り組まれ方なんだろうなあと思いつつながら行政と市民が一体となって、ほんとに何かを目標として取り組むっていうことを早急に考えていかないとこれからの街っていうのは大変なんじゃないかなと、行政だけの責任じゃないし、市民だけでもどうにかならないし、そういう危機感を持っていかないとダメなんじゃないかなと。

三輪（班長）

教育の問題は教育委員会から正式に報告を受けていないので、この場ではお答えできません。新聞報道で私たちが目にしたのは校舎で行われました先生への暴力事件についてです。教育委員会の中で、あるいは中学校の中で何が起きているのは聞いておりませんので持ち帰り、教育委員会にたします。

医療の問題、広域医療含めてですね、この谷間にある井笠圏域に医療をどうするか行政

ともども考えていきたいと思います。雇用の場これはずっと永遠の課題です、これも考えていきます。

産業街づくりの問題これは協働のまちづくりとも関連しますからこれから住みよいまちづくりのために西江原とされても、ここにいられる会長さんを中心にいいアイデアを出して地域ならではのまちづくりの展開を期待をしております。

荒廃地の問題です、全国的に問題で井原市特に農地の荒廃地が非常に多いんです。県内でも結構多い荒廃地がありますから、建設水道委員会も今年の通年テーマとして農業の関係を上げています。その中で議論させてもらいます。

市民と一体となったまちづくりはこれからの地方自治の根幹をなすところであります。これも議会ともどもみなさんの知恵を借りながら、行政と力を合わせて現在、執行的に100万円という、がんばる地域応援補助金もございしますが、じゃあそれがいつまで続くのかという、だれも答えられません。たぶん平成29年度の総合計画までだろうという予想はありますけど誰も分かりません。そのあとどうするのかという、まちづくりの自立をなさいとコミュニティもビジネスも個々で考えなさいとなるのか、まちづくりの基本をどうするのか、これは皆さんとの共通テーマになる問題ですから一緒に考えていきたいと思っています。

●●さん

市民病院の救急センター的なものが前市長の時から改善されていない。受け入れられない、福山とか倉敷とか選択する。井原市の市民病院がそういうことじゃだめじゃないのかなと思います。いじめ問題、警察にも教育委員会にもいきました。教育委員会は学校からの要請があれば指導するという事なんです。PTAにも顔を出しました。学校対、教育委員会、教育委員会は学校を指導しても学校だけに責任がないというのはわかります。家庭環境も大事。だからそこらへんの教育の仕方を教育委員会がするんじゃなく家庭にも指導をその方法を何等か前向きに考えてほしい。

それともう一件、福祉の関係なんですが、福祉の助成金、おしめ券というのは民生委員の紹介で配布されます。それは非課税者に対して2万とか4万とか、それ以外に包括が管轄している助成事業、そのぶんは7万5千円この分に関しては文献によれば、被介護者または介護する介護者になっているんですが、これに対しては当然、非課税者と生活保護をいただいていない人とかという対象があるんですけど、現実考えるのに対象者に対する一人暮らしの老人ならば介護者というのは外部からしか入ってこない、身内がいないとか遠縁になっているとか、そういう環境の人が多いと思うんですよ。井原市の福祉が充実して、こういう利用ができますよと、うたってあっても使うなというような感じがするんですよ。もっと簡単に、これってケアマネージャーが私、民生をしている関係で声かけでどうかならんじやろうかと、おしめ券じゃ利用できない、おしめ券はおしめだけなんです。7万5千円になれば消臭剤とかシャンプーとかいろんなものにきくんですよ。総会でも言っ

たんですが7万5千円をくれと言ってるわけじゃないんだと金額の少ない人でも、そういったものの利用ができるように考えてほしいと、委員会ではおしめ券でもそういったことができんじやろうか考えてくれと言ったんだけど市の決まりならなかなか回答は出なかったんですけど、金額ではない、議会で研究してほしい。

山本住宅の担当なんです、この前アンケートで建て替えるのを計画皆さんが住んでる人は不安がられているんです。何年先にどうこうなるとか、住んでるものはどうしたらいいんかとか、そうしたら今度はどっかに移動しといて建て替えて、入ってくるんじやけど、その時はまた募集かけて入るような、結局白紙の状態と一緒にです。今住んでる人はよそに行っという、その間に建て替えて、できたら募集してそこに入れるかどうかという選択でしょう？

今は募集されてないですし、家賃も高くなるじやろうと、そしたら入れなくなるなあという不安を持ちながら生活していつてる。建設都市計画に行き行って聞いてみたんですが、具体的な動きはないんだけど、いずれは年数がたっているから建て替えるんだと言ってるんだけどそこらへん正確な情報を住民に伝えてほしい。

三輪（班長）

一件目の市民病院の救急対応です。ご案内のように救急対応するためには医師の確保が不可欠です。今、市民病院の医師は10名プラス1です。法定の定数には非常勤の医師を入れて達しているんですが、常勤の医師が少ないから、たとえば眼科の医師が当番された場合、内科系、外科系の患者さん来られても対応できません。院長中心にいろんなこと頑張ってますが限度があります。ですから一つは医師の確保が解決されなくてはこの救急体制の問題についてはエンドレスで、おそらくいろんなところをお願いしないといけないだろうし、また笠岡、井原それぞれお互いが病院を作りあっても、これからどうなるんだという議論もかたやあると聞いております。したがってこれからの医療は広域的な医療を含めて特色ある地域性を出しながらやっていかないといけない、というところがあります。その中でみなさんのご心配の夜間、特に救急対応これについても地域としてしっかりと皆さんの声をしっかりと受け止めて議会としてもしっかりと議論して体制を考えていかないといけないと思っています。

次にいじめの問題です、いじめは昔からあります、私たちが子供の時から。これは否定しません。しかしいじめの形態や内容は様々に変わっています。今日いじめの問題がクローズアップされて非常に社会問題になっている。学校現場だけでなく地域や家庭やそして教育委員会も含めてみんなで考えていこうという土壌を作りながらやっていくというようなご提案だと思いますので、そういう問題をこれから担当委員会も含めましてきちっと議論して進めていこうと思っています。

福祉の関係ですが個々に入っていくといろんな場面が出てきます。実は国の大きな流れなんです、介護保険制度が大きく変わる可能性があります。要支援1、2というのが従

来の保険給付から保険事業になる。つまり市町村の事業になれば市町村によって介護保険ではあるものの事業としてやるかやらんか市町村の範囲になってきます。今、紙おしめは今の事業は福祉基金という基金を使ったものですから井原市独自の事業なんです。それをいつまで続けるか、じゃあ枚数何枚にするかとか金額をどうするか極めて皆さんと生活と密着した問題ですから慎重に将来の動向を見て考えていかないといけない問題です。介護保険の設計を含めて国がいろんな議論が分かれてくると思いますので、私たちもその動きを注視しながらこの問題の解決にあたっていきたいと思います。

市営住宅の問題ですが、耐震化について計画づくりができました。山本住宅について一番早く改築に新築に入っていくと思います。今居住されている方が不安になるのが一番いけません。ですから基本はいつどうなるんだと、そこに住まわれてる方に寄り添った情報が欲しいというのはよくわかります。これについては担当部の方にできるだけ早くお伝えして不安を解消するよう努めて働きかけていきます。

●●さん

おしめ券に関しては他の市はしていない井原市だけだから利用者にはありがたく思えることはわかるんです。私が言いたいのは非介護者と介護者が生活を同一にならないと、それができないということに対しての抵抗（制度の運用）なんです。

三輪（班長）・・・★

支給要件は市で決めます。ですが今のご意見をいただいて、担当常任委員会の委員もいますから持ち帰り十分に議論をしてみたいです。

●●さん

いじめの問題で先生の注意で止めたと、今度は校外で井原大橋の下でいじめをしていると情報が入ってるか知りませんが、ある人が写真を撮って警察に届けたと、で、私がそこで提案したのが先ほど防災の話が出ました、これと同じように資格員なんらかのもので調べていただいて巡回を広げていただいて地区地区のそういった関係の人に巡回してもらおうとか何らかの対策を取らないと子供たちも見えん所でいじめとか、かつあげとか、万引きとかいうことをするんで見えないところを井原市でピックアップしてほしいと思います。

佐藤議員

紙おむつの件ですけど、これから高齢者の世帯がどんどん増えてきています。福祉基金の方で紙おむつの助成制度を作って、今までも継続してきているんですが毎年予算をオーバーしています。その都度補正予算を組んで紙おむつの券を配布するというような現状で今、議会でも訴えてさせてもらっている。これから自分で申請ができない方が多くなってくると思うんです、先ほど言われたことを我々も真摯に受け止めて対応して行きますので、

お時間を下さい。

●●さん

一問一答式の形で40分ありますよね、これを私は30分以内にしてほしい、県が30分以内。倉敷も30分以内。で、井原放送もよく見ますが40分超える方はまずいないと思います。居ても一人かなと思うんですが、短くすることによって濃くしてほしいなど、同じことを何回も何回も言うんで、ついスイッチを切りたくなるんです。

もう少し中身を濃くして、30分で十分だと思います。私が9月ごろ測ってみますと答弁と質問で50分ですか、40分30分と短くしてほしい。この件の返事はよろしい。

以 上

2014年5月23日

井原市議会議長 殿

第1班 班長 上野安是

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	2014年5月17日（土）13時30分～15時45分
開催場所	芳井地区 「芳井生涯学習センター」
出席議員	上野安是 森本典夫 大滝文則 惣台己吉 西村慎次郎
参加者数	22名
主な意見 要望等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会あいさつ 2. 出席議員自己紹介 3. 井原市議会からの報告 <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成25年1月～12月の主な活動状況 2) 平成26年2月定例会市議会の審議内容 3) 平成25年度に市が策定した主な計画 4) ここに注目 5) 統計からみた井原市の1日 6) 井笠圏域における3市2町の状況と岡山県平均 4. 報告に対する質疑応答 ※別紙1「市民の声を聴く会要望事項等」参照 5. 議会，市政に関する意見交換など <ol style="list-style-type: none"> 1) 総務文教関連 2) 市民福祉関連 3) 建設水道関連 4) その他 ※別紙1「市民の声を聴く会要望事項等」参照 6. 閉会のあいさつ
備考	

市民の声を聴く会要望事項等 芳井地区(回答済分)

番号	地区	内容	回答
1	芳井	<p>公共交通について、4月23日芳井町連合会会長会でも質問したが、旧井原市内はほとんど100円バスが通っている。芳井の場合、共和・三原・明治地区は便利の良し悪しにかかわらず通っている状況であるが、芳井支所より南側については、ぜんぜん通っていない。</p> <p>北振バスは、商店街の佐原より梶江・飯名、これは通っていて停留所もある。国道は日に1便から2便しか通っていない。どこに行くにも年寄りには不便な状況である。</p> <p>市民病院まででも良いので、公共交通の確保をお願いしたい。</p>	<p>今後、高齢者の方が、買い物など日常の生活に不便を感じられる方が増えてくるが出てくると思われまます。</p> <p>1つ考えられることは、既存のバスの営業に影響するという話にもなるのですが、家の戸口まで出向いて行けるような交通システムが構築できれば、良いことだろうと思います。ただ、言うてすぐできるものではありませんので、議会としても、いろいろな機会において、そのことを提言していきけるような体制を作っていきたいと思ひます。</p>
2	芳井	<p>今まで議会を傍聴してきたが、議会ではほとんどそのような(公共交通の)話がなかった。今後では困るので、ぜひとも通していただきたいと思う。築瀬と西吉井が特に厳しい状況なので、ぜひお願いする。</p>	<p>芳井だけでなく、市内各地区でも同じような状況の地区もあります。芳井地区の方だけでなく市内全域で不自由な思いをされないような体制をしっかりと作っていかないといけないと議会の方も考えております。</p>
3	芳井	<p>4月28日の山陽新聞の内容であるが、美咲町はタクシー半分補助ということで、1000円未満は利用者の負担で、それ以上は市の負担ということになっている。1000円ぐらいで行きたいところへすつといけるというのがメリットだと思う。また、青野あたりであったが、バスが来てくれると便利だなあと話があった。ただ、バスが来るようになると利用するのは月に1回ぐらいということで、財政的な問題もあるだろうと思う。何かもう少し具体的に市民の本当の足になるような施策を考えていただけるとありがたい。</p>	<p>ルートを決めるのは、業者の方とか市民の方とかが入られている公共交通会議というのがありまして、その中でたびたび見直しをしています。そこへの要望を芳井地区として、出されるのが1つあります。</p> <p>また、議会としても、「こういう要望があったので、公共交通会議で協議していただきたい」と改善の要望を出していきたいと思ひます。</p>
4	芳井	<p>井原線を月1回岡山まで利用している。労働会館の方の駐車場を利用して、そこから歩いて陸橋を渡って駅まで行っているが、非常に難儀に思っている。駐車場から駅の線路を渡れる(横切る)ような通路を造っていただけないか。</p>	<p>井原駅の東と西へ踏み切りが設けてあります。井原線を利用される方が、労働会館の方から陸橋を越えて行かないといけないというのは、足腰の弱い方にとってはご苦労があるというのは、前々から課題になっているところであります。</p> <p>線路を横切る道を造るといのは、非常に難しいことかなと思ひます。逆に、駅前の駐車場の利用形態をしっかりと把握されて身体の不自由な方用の駐車場をいくつか用意されていますが、もし足りていなくて常時必要な状況であれば、井原鉄道の方へお願いするという形にはなろうと思ひます。</p> <p>議会としても、公共交通を利用する際の不便さ・不自由さについては、常々しっかりと考えていかないといけないと考えています。</p>
5	芳井	<p>市民の声を聴く会で質問をすると、この場で回答をもらえるが、その後の回答は何もなしである。去年のことに対する回答を今もらっても役に立たない。回答が、質問者に対してもっと早くいただく方法はないか。今後検討していただきたい。</p>	<p>市民の声を聴く会の運用を考えているのは、広聴広報委員会でありまます。今年度も昨年度と同じような形で、この場で回答できたものと回答できなかったものを仕分けさせていただいて、未回答分は、持ち帰って議会内で回答を準備して地元の代表者へお返しさせていただきます。そこから先の出席者の皆さまへ回答内容を回覧していただいているかどうかは、代表者へお任せしています。</p>

市民の声を聴く会要望事項等 芳井地区(回答済分)

番号	地区	内容	回答
6	芳井	<p>議員は議員なりに仕事されているのですが、議員の仕事はなんなのか。議員が今報告されたことは議員ではなくても市の職員でもできることである。また、議員と我々市民が議員と接することもない。広報で見たり、井原放送で見たりする程度である。議員の活動ぶりが目に見えない。議員の報酬が安いなら何も言わないが、年間約600万円もらっていて、一般サラリーマンの2倍ぐらいいる。サラリーマンは、しっかりと仕事をしているわけで、議員は仕事をしているような、していないような、よくわからない感じで、ちょっとええ恰好をしていると感じている。それはおかしいと思うので、議員を5, 6人減らして、浮いた3千万円を使って、井原市内の連合会長100人弱が働きやすいシステムを作っていただきたい。議員がいなくても活発な活動ができる環境を作してほしい。そうすることで、井原市全体が活性化してくると思う。検討してほしい。</p>	<p>議員の仕事が見えにくいということではありますが、本日も市民の声を聴く会を開催し、議会は市民のためにこういうことをしているということを知っていただけたところでもあります。実際に仕事をしているかどうかかわからないということですが、●●さんがそう思われているということは、ここにいる議員5人は肝に命じて帰らせていただきますが、それが20人すべての議員に聞いても、そうですねということにはならず、20人一人ひとりが一生懸命やっているということをご理解いただきたいと思います。</p> <p>それから、議員の定数減で浮いたお金を連合会へ配分してはというご意見ではありますが、市の全体予算としては3千万円ほど浮いたということになりますが、それを連合会へ配分するというお考えを持って帰ることはできませんが、我々が検討するところではないように思います。</p>
7	芳井	<p>浮いた予算を連合会へ配分するという意見に対して、議会で検討するところではないということは理解できるが、市長ともしっかり協議をして、連合会長の働きやすいシステムづくりをお願いしたい。</p>	<p>地区のまちづくりについては、自治会や公民館を通じて頑張ってきた。昨年からまちづくり推進協議会というのを立ち上げていただいて、古き良き時代を思い出しながら、将来に向けて頑張っていこうという新しい投げかけが市からありまして、各地区民に頑張らせていただいているのが現状だと思っています。それぞれの町の活性化であります。人口減の問題が本当に大きな問題でありますので、その辺りも含めまして全体的なことを見て、議会としてもしっかりと受け止め、議論して、執行部へ提言していきたいと思っています。</p>
8	芳井	<p>市民の声を聴く会は4回目である。芳井の議員が2人いるが、芳井のことは言えないと言われる。本日来られた議員は、次回開催までの1年間、芳井の担当として、対応していただくことはできないか。</p>	<p>それぞれの議員が受けるか受けないかという個人の問題でありますので、個人の議員活動で、その議員がOKと言えませんが、この場で議会としてどうするという回答はできませんので、よろしくお願い致します。</p> <p>基本的には、地元から立候補しているわけですが、議員20名全員が井原市のためにということを出ているわけでありまして、相談の連絡を受けて、その議員が納得をすれば、そこへ出向いて行くと思います。</p> <p>議会全体で動きを拘束することはできませんが、井原市議会議員ですから、どなたに言っても聞いてもらえると思います。</p>

市民の声を聴く会要望事項等 芳井地区(回答済分)

番号	地区	内容	回答
9	芳井	<p>予算決算委員会で、せつかく1年間の予算決算の審議をするのに、去年傍聴に行かせていただいた時には、議員20名中5名しか質問をされなかった。このことを、議会への提案箱へ投書したら、その回答が「議員全員へ報告しておきます」という回答でした。それで、また、今年の3月に傍聴に行かせていただいたが、半数ぐらいは質問をされたが、大して関係ないことを質問されるなあという印象だった。予算決算を決めるのだから、もっと入り込んで、予算を増やしてほしいとか、少なくしてほしいとか、議論があっても不思議ではないと思う。全部執行部の言いなりということか、全部理解しているということか。</p>	<p>予算決算委員会で、1年間の市の予算について、いろいろと議論をしているのが現実であります。そこで、質問するとかしないというのは、個々の議員が勉強している、していないというも含めまして、それが理解できれば質問をしませんし、疑問に思えば質問をしているということでもあります。これは、個々の議員活動ということでもありますから、「質問を何人しかしていない」ということを言われていることについて、我々議員とすれば理解できないということでもあります。</p> <p>また、「言いなり」という日本語は納得できませんが、●●さんがそう理解されているということでありまして、我々は「言いなり」という理解はしておりませんので、よろしく願い致します。</p> <p>同様の内容が、議会への提案箱に入っております。こういった意見を議員全員が真摯に受け止めて、頑張っていこうと再認識させていただきました。</p>
10	芳井	<p>お知らせくんがつくときに、芳井は防災無線があるということと、美星は有線放送があるということで、それを活用してくださいということで質問をしている。そのことが、議員へ全然伝わっていないのか。議会はいろいろな意見を審議して結論を出すのではないか。</p>	<p>当然、審議して、結論を出しています。</p>
11	芳井	<p>議員は、執行部へ伝えるだけの御用聞きになっていないか。</p>	<p>この場で出ました意見の中で、即回答ができなかった部分につきましては、持ち帰りまして、所管の委員会に振り分けをしまして、その委員会で議論をしてその結果を全員協議会にかけて、その中身を皆さまへお返ししているのが実態であります。</p>
12	芳井	<p>昨年質問させていただいたが、議会中継の再放送が井原放送で正しくされなかった件は、どうなったか。</p>	<p>これにつきましては、議会内で協議して、議会としての回答を返させていただいていると思います。</p>
13	芳井	<p>今年の2月に、井原鉄道で、使い込みがあったとかないとか報道がされていたが、井原鉄道は現在どのような状況になっているか。3月の議会で誰も質問をされなかったの、市民は状況が良く分からない。議員の方で知っていれば教えていただきたい。</p>	<p>不祥事があったことについて、現在の状況を何かつかんでいることがあるかという質問だと思いますが、特につかんでいる情報はありません。</p> <p>2月に、井原鉄道の社長である市長と専務と部長の3人から議会へ説明をしていただきました。それ以降は、議会としては聞いておりません。今月(5月)の28日の井原鉄道の株主総会で説明があるとお聞きしています。</p>

市民の声を聴く会要望事項等 芳井地区(回答済分)

番号	地区	内容	回答
14	芳井	井原鉄道は第3セクターでも、井原市の税金を使っているわけだから、市民の皆さまにかかわっていることなので、それに対して議員が誰も聞こうとしないというのはどうかなあと思う。	<p>一般質問などで、井原鉄道のことを質問として投げかけるのが、適切かどうかというのは、議員の個々の判断となります。一般質問にはそぐわない内容かなと思っています。</p> <p>また、不祥事が起きて結論が出ていない状況で、どうなっているようになっていくことを聴くことは、議員の動きとすれば早計な動きと思います。臨時の株主総会が終わった後に、内容がどうだったかを公式に聴くというのは、それぞれの議員活動でできると思います。ということで、現時点で事細かくチェックするというにはならないと思います。</p>
15	芳井	<p>協働のまちづくりということを言われているが、市の施策に対して、市民が意思決定に参加することはどのようにお考えか。</p> <p>先進地域として、堺市が定義づけを行ってやっている。堺市の定義をそのまま読むと、「市の施策事業(将来なり得るものも含む。)における企画立案・事業実施・評価という一連の過程に、市民が主体的に加わり、意見を述べ、提案し、または行動することとします。そして、そのことによって、事業が円滑に推進することや、行政施策の選択肢が増加すること、ひいては公共サービスの質が向上し、より暮らしやすい地域社会の形成に繋がることを目的とします。」ということです。</p>	<p>市の施策に対する市民参加についての考えという質問ですが、基本的に市の方で考える計画については、それぞれの計画を立てる際に、一般公募も含めて審議会という形で市民が参加して策定しております。また、計画がある程度策定できた段階で、パブリックコメントということで、市民の方からの意見を収集しています。その同じタイミングで議会の方でも協議しています。</p> <p>実際の執行段階にも市民が係れるかということではありますが、個々の事案で違うと思いますし、言われていることで、具体的な案がありましたら、それは持ち帰って議会の方で考えることもできると思います。現段階で、市民参加となるとこれぐらいの考えしかありません。</p>
16	芳井	協働のまちづくりや市民参加について、先進地の調査をされているか。	<p>協働のまちづくりと言い始めてかなり経過しているが、井原市では「協働のまちづくり」や「協働の町おこし」という組織を立ち上げて、地元でどういう風にして地域を活性化していくか検討していただき、それに対して補助金をソフト事業に対して100万円を出しているというのが予算的な配分であります。先進地の調査に関しましては、それぞれの委員会でも年1回行政視察をして調査しているところです。また、個々の議員が政務活動費を使ってそれぞれの先進地を見て回っているところです。</p>
17	芳井	協働のまちづくりと言った時に、市から出るのは公民館である。公民館がだいたい中心で動いているパターンが多い。住民の組織というのは自治会だと考えている。それを中心に持って行くことが何で今までできていないのか疑問に思っている。	<p>まちづくりというのは公民館を中心というお話をされましたが、実際には公民館と自治会とあるいは新しい組織ということで、そこは包含されているという理解をしています。芳井町のまちづくりの組織が自治連合会を母体に作られていけば、そちらの方向の組織になりますでしょうし、それぞれの自治会単位でイベント等をされているとりまとめをまちづくりがやるということであればそういう方向の組織になると思います。まちづくりに活かしやすいシステムはできつつあるという理解をしています。それぞれの地区では動き方は違ってきます。</p>

市民の声を聴く会要望事項等 芳井地区(回答済分)

番号	地区	内容	回答
18	芳井	<p>市としては個々には踏み込まないということだと思いますが、自治会の意見が市の企画立案に反映されるしゆきを今後作っていくべきだと思うがいかがでしょうか。</p> <p>議員がいて、そこで決定するというのは当然だが、今後の地方自治のあり方として、企画立案から評価に至るまで、地域住民に係っていくべきだと思う。</p>	<p>市民一人ひとりがしっかりと考えていくべきだろうと思いますし、予算から市民に係っていくのが当然だと思います。</p>
19	芳井	<p>市民参加型の仕組み作りをしている先進地をしっかりと視察していただきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
20	芳井	<p>先日の新聞で、「全国の896自治体が消滅の恐れ」という新聞報道がなされている。子どもが増えないとどうにもならないという1点で書かれてあった。</p> <p>岡山県内で言えば、笠岡市、高梁市が8市4町2村の中に入っている。井原市もよそ事ではないという気がする。長い目で見て、いろいろご検討いただきたい。</p> <p>社説の中でいきますと、日本独特の家族制度、おじいちゃんおばあちゃんの中でお孫さんも一緒に暮し、近所が支え合っていくという社会をつくらないと子育てはできないと書かれています。特に働いている若いお母さん方に対して、企業的にも地域も行政も一緒になって何とか子どもさんを増やしていき、学校が少しでもにぎやかになるようにご検討・協議をお願いします。</p>	<p>人口減につきましては、議会がどうというレベルではありませんで、大変な問題だと思っています。もし、それがすぐに解決するのであれば、たぶん対策はすでに打っていると思いますが、この問題は、市民の方も含めてしっかりと議論していかなければならないと思います。</p> <p>先日の新聞で、25年後には井原市の20代、30代の女性が39%減るといのが載っていました。議会としても、企業誘致や農業の振興など調査・検討をしていきたいと思っています。</p>

市民の声を聴く会要望事項等 芳井地区(未回答分)

番号	地区	内容	回答
1	芳井	小学校の給食費の無料化をお願いしたい。	ご希望ということでお伺いしました。子ども達への補助ということで、井原市としては、医療費の無料化とかを行っているところであります。その1つとして、給食費の無料化ということが井原市の財政状況からいくとどうかというところであります。給食費の無料化について、ご要望があったことは執行部へお伝えします。
2	芳井	放課後児童クラブを市で運営していただきたい。ご検討いただくとしたら、いつ頃結論がでるか。	市民福祉委員会の所管事務調査の中で、議論をしていきたいと考えております。公設公営が良いのか、公設民営が良いのか、民設民営が良いのか、市民福祉委員会で提言ができるように検討を進めていきたいと委員会では考えているところであります。 すべて予算が絡んでくる話ですが、市民福祉委員会としては、例えば、「公設公営が良いです」というだけの提言で終わらないで、先進地を参考にしたりしてどうすることが良いのか検討段階でありますので、いついつできますという返事はできないという状況です。
3	芳井	自主防災について 自主防災は、国を始めとして、井原市も強く取り組んでいるところである。自主防災の補助金のことだが、20万円以上50万円未満の金額に対して補助金を出すということになっていて、そのうち、8割を市が補助するという事になっている。ということで、2割は自治会なり公民館が出しなさいということになっている。下限を設ける必要はないと思っている。 我々の自治会では、災害が起きた時に要援護者を避難場所へ誘導しようとしていて、援護者と要援護者を決め、ペーパーにしてお願いをしようとしている。この作業費用は2、3万円で済む。その程度では補助金がでないのが現状である。なぜ、下限があるのかわからない。国や県が決められている額と思われるが、市の条例でぜひ補助金の下限なしというのを制定してほしい。	地元の方をお願いをして、自分たちの身は自分たちで守ろうということが大前提でありまして、自主防災組織をつくってほしいという動きになっております。地元の方としても自分たちで守らないといけないということで動いていただいていると存じ上げております。 補助金の下限撤廃という件であります。なぜ下限20万円なのかというのは、執行部へ問い合わせたこともありませんので不明です。下限枠の撤廃につきましては、議会としても慎重に考えまして、それが効果的であるようならば、執行部に対して投げかけていきたいと思っております。
4	芳井	共和小学校の体育館について 天井の梁が剥げてきている。共和小学校は土石流の危険区域にもなっている。先日、震度4の地震があったが、到底そういう場所へ避難するというのはあり得ない。改善をお願いしたい。	今後の利用状況も考えて、公共施設の在り方について検討していきたいと思っております。共和小学校の体育館につきましては、今の状況を担当課へ伝えておきたいと思っております。

市民の声を聴く会要望事項等 芳井地区(未回答分)

番号	地区	内容	回答
5	芳井	<p>①防災無線について 「お知らせくん」導入により、防災無線は取り除くということになっている。取り付けた時の目的を確認してほしい。外で作業している人にも聞こえるように防災無線のスピーカーを付けてやっていると思う。 新しく設備をしてやってくれということになると莫大なコストがかかると思うが、今のスピーカーにお知らせくんのコードを引っ張っていけば良いと思っている。市の説明では、1機100万円かかり、芳井町にある5機をやろうとすると500万円かかるということでした。先日、早朝の火事があったとき、3月だったので、お知らせくんと防災無線が両方ついていて、防災無線を聞いて駆けつけてくれた人もいた。ぜひ検討をお願いします。 市長は、協働のまちづくりや防災に力を入れていると言われている。そうであるなら、防災関連にしっかり予算を付けてほしい。1機100万円ほどであれば、他のどこかを節約しても予算をつけてほしい。 ハードは市に任せてください。ソフトは市民で考えてくださいと言われている。言っていることと、やっていることが違う。 旧井原市の方が防災無線の良さがわかっていないと思う。市民のための安心安全を確保するために、防災無線は有用と考える。</p> <p>②共和・三原は議員がいないので節約している。連合会長の意見が反映できるような権限を持たせてほしい。連合会長は単なる連絡係ではない。</p>	<p>外にも聞こえるようにという話は、議員の中からも質問をしてきているところです。執行部は大変つめたい返事であったように思います。議会としてしっかり受け止めて、議会としてできることは何かを検討して、執行部へ提言していきたいと思います。 市長にその気になってもらわないといけない。議会としてもしっかりとやっていかないといいないと思います。</p>
6	芳井	<p>ASUWAの駐車場の件で、芳井支所長と建設課(●●さん)へ話をしたら、それは良いことだということになって、市の方で話を進めてくださいという話になっています。 ASUWAのすぐ隣に田んぼがあって、全く物を作っていない状態で、約2500㎡ある。駐車場に使ってくれたら無料でも良いということだが、そういうことを議会の方から市へ言っていただけか。検討してみてください。</p>	<p>市の職員2人が聴いているということですし、ASUWAの駐車場が確保できるというのは良いことだと思いますので、市へどうなっているか聞いてみたいと思います。</p>
7	芳井	<p>「でんちゅうくん」の経済効果を、議会としてどのような評価され、どのように思われているか。ゆるキャラグランプリへ初めて参加され、1500体中74位でしたか、大健闘だったと思う。でんちゅうくんを中心にいろいろな施策を展開されてはと思う。</p>	<p>井原市が数字を持っていたら、持ち帰らせていただいて、回答をさせていただきます。デザイン使用料は無料にしているところもありますので、井原市が掴んでいる数字は調べまして回答させていただきます。</p>

市民の声を聴く会要望事項等 芳井地区(未回答分)

番号	地区	内容	回答
8	芳井	北振バスに対して、補助金は井原市からいくら出ているか。	細かい資料がありませんが、交通対策として、地方バス路線の運行維持補助金ということで、8,427万円ありますし、市内循環バス(100円バス)の運行費用などもあります。北振バスに対しての補助金については、調べて回答させていただきます。
9	芳井	自治連合会長の位置づけ、役割分担について回答をいただきたい。自治連合会長会議を市が開催するが、市が開催するときに、もう決まったことを説明している。市民が入れないかということもあるので、自治連合会議がある前に、この場を開いていただいて、市が企画などをする際に、ここで出た市民の意見を反映していただけたらと思う。自治連合会議で市が話をするのは役不足で、聞いて帰ればええやという感じで、回答は、やることは決まってるからそれ以外はしませんというような感じで今はできませんということです。そのことはできなくても、代替え案を考えましょうということも言わない。ということで、まさしく協働のまちづくりになっていない。今後、市の予算も削られていくということですから、自治連合会議とかで、市民が考えて本来なら市がしないといけないことを我々が代わりにやるような形をして市の負担を減らしていこうということも考えているわけですから、そういう場をもう少し設けて、連合会長会議というのは地域の代表なので、一番その地域の需要もわかっているの、そこで住みよい町づくりができるわけですから、そういう意見をもう少し取り上げる場を設けてもらいたい。	自治連合会議の持ち方、進め方の改善要望について執行部へ伝えておきます。要望したからすべて受け入れていただけるといったことはありませんので、一般会計予算200億円の範囲でやりくりされていると思います。何を言っても聞いてもらえないということではいけないと思いますので、議会としても言っていきたいと思います。

平成26年 6月 4日

井原市議会議長 殿

第2班 班長 簗戸 利昭

市民の声を聴く会実施報告書

開催日時	平成26年 5月10日（土） 19時00分～20時40分
開催場所	美星地区 「 美星公民館 」
出席議員	簗戸利昭、森下金三、大鳴二郎、三宅文雄、河合謙治
参加者数	86名
主な意見 要望等	※回答済み 別紙のとおり ※未回答 別紙のとおり
備考	

第4回 美星地区（5／10：86人）

番号	要望等の内容	回答	対応
1	市民病院に行ったことはないが、聞いたところによると、非常に待つ時間が長いと聞いている。	このような意見があったと伝える。また、病院内の意見箱に提案して下さい。	回答済
2	土壌検査をすると、リンが多い。水が昔から比べて悪くなっている。	他の町でも同じような意見は出ている。下水道についても、まだまだ出来ていないところが多い。生活用水も流れ込んでいる。	回答済
3	定住対策の推進（特に若者就業者の定着に向けて）について、大変難しいことですが、井原市として議会としてどのような話合いがされているのか。	企業誘致が出来ていないのが現状で、四季ヶ丘を中心に建設水道委員会でもあらためて検討する予定です。市としてもイバラノミクスの16本の柱を立てて、再度、検討していきます。	回答済
4	コンビニエンスストアを美星に誘致してほしい。ATMが2ヶ所しかなく、24時間のコンビニエンスストアが来れば、とてもうれしい。誘致を勧誘してほしい。生産額はどれぐらいなのか。	コンビニ側に直接言ってもらえない。議会として、要望の約束は出来ません。	回答済
5	美星公民館の前の舗装はなぜ一部なのか。	全面舗装してほしいと要望したが、予算上の関係で今がある。これからも全面舗装出来るように要望します。	回答済
6	荒れた畑が増えているが、その場に、ひまわりとかを植えれば良いのではないかと。見た目が良くなると、美星に人がやって来るのではないかと。これにかかる費用はないのか。	花いっぱい運動で、公民館などで8万円／年、3年間出ますので、これを活用して頂けないでしょうか。	回答済
7	市長と市議会を同時選挙にしてほしい。税金が数千万円うく。	前回も同じことが出た。合併時にも同じことは出たが、出来ないということであった。	回答済
8	市道等の枯れ木を切れないか。ボランティアでしているが、間に合わない。市で切れないか。パトロールをしているのか。	パトロールはしていない。倒木等は市に依頼してもらえれば、切ってもらえると思います。団体に対する補助金制度もありますので、利用して下さい。	回答済
9	美星支所内の水道関連の技術者を1～2名増やしてほしい。	芳井町も同じことが言われている。支所にもすぐに対応出来る人がいない。議会として要望していく。	回答済
1	美星の市営住宅にて、申込期限が過ぎると受け付けないというのはどういうことなのか。	市に聞いてみます。	未回答
2	保育・子育てについて、美星町内から、井原とか芳井に通っているが、美星に将来的に保育園とかが出来るのか。	この件は、昨年6月に一般質問で、「幼稚園の中に保育園が出来ないか」と質問したが、平成26年に策定して平成27年には決定する予定と回答をもらっている。今後、市としては、アンケートをした後に回答するとのこと。	未回答
3	市民病院に防犯カメラをつける予定はあるか。駐車場で車をあてられて、泣き寝入りしたのですが、今後付けますか。	かなりの金額がかかるし、個人管理と出来ないか。この場では、決められないので、市に聞いてみる。要望が多いようなら、提案する。	未回答
4	地産地消における比率を教えてください。	調べて回答します。	未回答